

## (7) 社会工学類

社会工学類共通:専門基礎科目(必修・選択) 平成25年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH60013	社会工学実習	3	2.0	1	春AB	金4-6	3A203, 3A207, 3A212, 3C108, 3C110, 3C102, 3C104, 3C114	秋山 英三, 安東 弘泰, 栗野 盛光, 有田 智一, 岡田 幸彦, 小林 佑輔, 雨宮 護, 澤 亮治, 村上 暁信	社会工学を体系として, 方法, 手法, 応用の3種類にわたって概観し, 社会工学の基本概念を明らかにする。具体的事例により, 社会工学的問題解決についての手法の初歩を学習する。	CDP 必修科目。初回は3A202教室に集合。
FH60113	社会調査実習	3	2.0	2	秋AB	月4-6	3A402, 3E209	石井 健一, 雨宮 護, 近藤 文代	社会調査の基本手法を講義し, 実習を行う。	1年次生の履修は不可(ただし, 在学二年目以降の学生を除く) 必修科目
FH60214	情報リテラシー・演習	4	2.0	1	春AB	水1 水2	3A403, 3C102, 3C104, 3C114	八森 正泰, 張 勇兵, 大久保 正勝, 安東 弘泰, 岡本 直久	計算機の基礎理論の入門的講義, および, 計算機的基本的な使い方に関する演習を行う。	FH60211, FH60312と一部共通。 必修科目。平成25年度以降入学者対象科目。
FH60413	プログラミング実習	3	2.0	1	秋ABC	水1, 2	3A202, 3C102	佐野 幸恵, 秋山 英三	プログラム言語についての講義と実習を通じてプログラミングの基礎的な概念について学ぶ。	1, 2クラス 必修科目
FH60423	プログラミング実習	3	2.0	1	秋ABC	水1, 2	3A202, 3C104	Phung-Duc Tuan, 繆 瑩	プログラム言語についての講義と実習を通じてプログラミングの基礎的な概念について学ぶ。	3, 4クラス 必修科目
FH60433	プログラミング実習	3	2.0	1	秋ABC	水1, 2	3A202, 3C114	太田 充	プログラム言語についての講義と実習を通じてプログラミングの基礎的な概念について学ぶ。	5, 6クラス 必修科目
FH60511	微積分I	1	2.0	1・2	春AB	火2 木1	3A405	中村 豊	微積分の基礎になる $\epsilon$ - $\delta$ 論法を使い, 数列の収束や関数の連続性などを教える。また1変数の微分と積分について教える。	ブレイメントテストに基づくクラス分けを行い, 受講クラスを決定 必修科目(平成24年度以前入学者), 選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH60521	微積分I	1	2.0	1・2	春AB	火2 木1	3A409	小林 佑輔	微積分の基礎になる $\epsilon$ - $\delta$ 論法を使い, 数列の収束や関数の連続性などを教える。また1変数の微分と積分について教える。	ブレイメントテストに基づくクラス分けを行い, 受講クラスを決定 必修科目(平成24年度以前入学者), 選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH60531	微積分I	1	2.0	1・2	春AB	火2 木1	3B405	大澤 義明	微積分の基礎になる $\epsilon$ - $\delta$ 論法を使い, 数列の収束や関数の連続性などを教える。また1変数の微分と積分について教える。	ブレイメントテストに基づくクラス分けを行い, 受講クラスを決定 必修科目(平成24年度以前入学者), 選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH60541	微積分II	1	2.0	1・2	秋AB	火2 木1	3B402	岸本 一男	多変数の関数の微分と積分, その応用について学ぶ。具体的には, 偏微分, 全微分, 高次偏導関数, テイラーの定理, 極値問題, 陰関数定理, 重積分, 累次積分, 広義重積分, 変数変換。	1, 2, 3クラス 必修科目(平成24年度以前入学者), 選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH60551	微積分II	1	2.0	1・2	秋AB	火2 木1	3A301	糸井川 栄一	多変数の関数の微分と積分, その応用について学ぶ。具体的には, 偏微分, 全微分, 高次偏導関数, テイラーの定理, 極値問題, 陰関数定理, 重積分, 累次積分, 広義重積分, 変数変換。	4, 5, 6クラス 必修科目(平成24年度以前入学者), 選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH60611	線形代数I	1	2.0	1・2	春AB	火・金1	3B405	鈴木 勉	具体例を用いて, 線形代数の抽象的な概念を理解する。内容は, 1. 行列とベクトル, 2. 連立方程式の解法, 3. 行列式。	1, 2, 3クラス 必修科目(平成24年度以前入学者), 選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH60621	線形代数I	1	2.0	1・2	春AB	火・金1	3A209	佐野 幸恵, 秋山 英三	具体例を用いて, 線形代数の抽象的な概念を理解する。内容は, 1. 行列とベクトル, 2. 連立方程式の解法, 3. 行列式。	4, 5, 6クラス 必修科目(平成24年度以前入学者), 選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH60641	線形代数II	1	2.0	1・2	秋AB	火・金1	3B402	堤 盛人	具体例を用いて, 線形代数の抽象的な概念を理解する。内容は, 1. 線形空間, 2. 線形写像, 3. 固有値・固有ベクトル, 4. さまざまな応用。	1, 2, 3クラス 必修科目(平成24年度以前入学者), 選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH60651	線形代数II	1	2.0	1・2	秋AB	火・金1	3A306	繆 瑩	具体例を用いて, 線形代数の抽象的な概念を理解する。内容は, 1. 線形空間, 2. 線形写像, 3. 固有値・固有ベクトル, 4. さまざまな応用。	4, 5, 6クラス 必修科目(平成24年度以前入学者), 選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH60711	統計I	1	2.0	1・2	春AB	火・木4	総合 B0110	イリチュ 美佳	データを分析する上での具体的な手法やモデル, その応用について講義する。内容は, データの整理, 確率の基本的考え方, 確率変数, 分布関数・密度関数, 標本分布, 母数の推定, 仮説検定。	1, 2, 3クラス 必修科目(平成24年度以前入学者), 選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH60721	統計I	1	2.0	1・2	春AB	火・木4	3A209	原田 信行	データを分析する上での具体的な手法やモデル, その応用について講義する。内容は, データの整理, 確率の基本的考え方, 確率変数, 分布関数・密度関数, 標本分布, 母数の推定, 仮説検定。	4, 5, 6クラス 必修科目(平成24年度以前入学者), 選択必修科目(平成25年度以降入学者)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH60741	統計I1	1	2.0	1・2	秋AB	火・木4	3A306	牛島 光一, 鈴木 勉	データを分析する上での具体的な手法やモデル, その応用について講義する。	1, 2, 3クラス 必修科目(平成24年度以前入学者), 選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH60751	統計I1	1	2.0	1・2	秋AB	火・木4	3A416	五十嵐 岳, 繁野 麻衣子	データを分析する上での具体的な手法やモデル, その応用について講義する。	4, 5, 6クラス 必修科目(平成24年度以前入学者), 選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH62012	社会経済システム情報演習	2	2.0	2	秋AB	木5, 6	3C102 3C110 3C114	上市 秀雄	統計分析用プログラムを利用した統計処理の基本概念と方法を実習を通して修得する。利用するOSはWindows。	必修科目(社会経済システム主専攻, 平成25年度以降入学者), 選択必修科目(都市計画主専攻, 平成25年度以降入学者)。1年次の履修は不可。 平成25年度までの「社会経済システム情報実習」に相当(選択必修科目, 平成24年度以前入学者)。平成25年度以前に「社会経済システム情報実習」を履修したものの履修は不可。
FH62033	都市計画情報実習	3	2.0	2	春AB	月4-6	3C110, 3C114	渡辺 俊, 吉野 邦彦	都市計画を考える際に不可欠な面的・空間的に広がりのある情報を測定する技術やコンピュータを用いて作成・分析するための基礎的な方法について, 測量実習による実技と専門的アプリケーションを利用した課題を通じて修得する。	1年次の履修は不可 選択必修科目(都市計画主専攻)。
FH63021	マクロ経済学	1	2.0	1・2	春AB	火6 金3	3A204	大久保 正勝	国内総生産, 利子率, インフレ率, 成長率などが一国経済の中でどのように決定されるかを考える。また, 財政・金融政策がどのように経済活動に影響するかを議論する。	選択必修科目
FH63031	ミクロ経済学	1	2.0	1・2	秋AB	木5, 6	3A403		完全競争市場における資源配分に関する講義を行う。時間があれば不完全競争市場などについても講義する。	選択必修科目
FH63041	経営工学概論	1	2.0	1・2	春AB	月5, 6	3A204	倉田 久	社会工学類の1・2年生を対象に初級レベルの経営工学を講義を行う。経営工学の100キーワードとして選出された経営工学の基本的概念やコンセプトを学ぶ。	選択必修科目
FH63051	会計学概論	1	2.0	1・2	秋AB	金3, 4	3A204	岡田 幸彦	前半は, 日商簿記検定3級レベルの記帳技術を体得する。後半は, 企業会計の全体像を理解する。大手監査法人のご協力のもと, 公認会計士の重要な社会的役割についても理解を深める。	選択必修科目
FH63071	都市計画原論	1	2.0	1・2	春AB	木5, 6	3A204	谷口 守	我々が暮らす都市はどのように形成されたのだろうか。また, そこに存在する様々な問題はどのように解決していけばよいのだろうか。本講義は都市のなりたちとその課題, 都市を構成するインフラや建築物, およびその計画の方法や将来展開について, 国内外の多様な事例をひもとく事を通じ, 本分野の入門として幅広い知識と知恵を身につけることを目的とする。	BC12721と同一。 選択必修科目。平成24年度までの「現代都市環境論」に相当。
FH63081	都市計画の歴史	1	2.0	1・2	秋AB	金5, 6	3A204	藤川 昌樹	古代から現代に至る都市・建築の歴史を概説し, 各時代の空間の特色と政治・経済・社会・技術的背景との関連について考察を進める。また, 現代に残された歴史的環境を保存するための制度・事例についても論述する。	BC12831と同一。 選択必修科目。平成24年度までの「都市空間の歴史」に相当。

社会工学類共通: 専門基礎科目(自由) 平成25年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH63111	社会工学特設講義(つくばの景観を考えよう)	1	1.0	1・2	秋C	火1, 2	3A405	大澤 義明, 近藤 美則, 石井 儀光	筑波大学キャンパスのリノベーションや常総市, 土浦市, 石岡市, 水戸市, つくば市の景観を検討するために, 景観シミュレーション演習を行う。2回の発表会を通してプレゼンテーション技術を向上させる。優秀作品については, 別途プレゼンテーションの機会を与える。	
FH63161	社会工学特設講義(LaTeX入門)	1	1.0	3	秋C	木5, 6	3C102	繁野 麻衣子, 八森 正泰	文書作成システムLaTeXを実習も含めて習得する。これまでにLaTeXを利用したことのない学生を対象とする。他学類生は, 必ず授業開講前に, 履修の可否について担当教員に問い合わせること。	

社会工学類共通: 専門科目 平成25年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH11011	社工専門英語	1	1.0	2	春AB	水3	3A305	ターンブル ステイヴェン	社会経済システム分野の基礎的な概念を英語で学ぶ。	必修科目(平成25年度以降入学者)。社会経済システム主専攻学生に限る。 選択必修科目(平成24年度以前入学者)平成24年度以前入学者は, FH61041「社工専門英語別講」と併せて履修することでFH61011「Introduction to Social and Economic Sciences」に相当。平成25年度以前にFH61011, FH61021またはFH61031を履修したものの履修は不可。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH11021	社工専門英語	1	1.0	2	春AB	水3	3A207	小林 佑輔	経営工学分野の基礎的概念を英語で学ぶ。	必修科目(平成25年度以降入学者)。経営工学主専攻学生に限る。 選択必修科目(平成24年度以前入学者)平成24年度以前入学者は、FH61051「社工専門英語別講」と併せて履修することでFH61021「Introduction to Management Science and Engineering」に相当。平成25年度以前にFH61011、FH61021またはFH61031を履修したものの履修は不可。
FH11031	社工専門英語	1	1.0	2	春AB	水3	3A409	川島 宏一	都市・地域計画に関する基礎的概念を英語で学ぶ。	必修科目(平成25年度以降入学者)。都市計画主専攻学生に限る。 選択必修科目(平成24年度以前入学者)平成24年度以前入学者は、FH61061「社工専門英語別講」と併せて履修することでFH61031「Introduction to Urban and Regional Planning」に相当。平成25年度以前にFH61011、FH61021またはFH61031を履修したものの履修は不可。

社会工学類(社会経済:計量分析システムエリア) 平成25年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH26012	計量分析システム演習	2	2.0	2-4	春AB	木5,6	3A209, 3C102	高橋 正文	ファイナンス関係の理論及び実証研究で用いられる計量手法をデータ解析などを通じて学ぶ。	エリア演習。計量分析システムエリア(平成25年度以降入学者)、計量ファイナンスシステムエリア(平成24年度以前入学者)。平成24年度までの計量ファイナンス演習に相当。FH22012と同一。 社会工学類3・4年次生を優先する
FH26021	計量経済学	1	2.0	2-4	春AB	水1,2	3A207	五十嵐 岳, 繁野 麻衣子	計量経済学の基礎となる回帰分析の理論を講義する。統計学・線形代数・微分積分学などの知識を前提とする。	計量分析システムエリア(平成25年度以降入学者)、計量ファイナンスシステムエリア(平成24年度以前入学者)。BB41341, FH22021と同一。
FH26031	マクロ計量分析	1	2.0	2-4	春AB	木3,4	3A416	大久保 正勝	経済時系列データの分析に必要な計量経済学の方法を解説する。また、必要に応じてマクロ経済や金融分析への応用例を紹介する。	計量分析システムエリア(平成25年度以降入学者)、計量ファイナンスシステムエリア(平成24年度以前入学者)。FH22031と同一。
FH26041	金融論	1	2.0	2-4	秋AB	木3,4	3A301	原田 信行	ミクロ・マクロ経済学という分析手段を使って、金融システムを理論的・実証的に分析することで、経済における金融および金融政策の役割を考察する。	計量分析システムエリア(平成25年度以降入学者)、計量ファイナンスシステムエリア(平成24年度以前入学者)。FH22041と同一。
FH26051	金融リスク管理論	1	2.0	2-4	秋AB	月5,6	3A416	高橋 正文	金融資本市場に内在する様々なリスクを分類し、その個別リスク及び相関を考慮した全体リスクの計量方法を学ぶ。	計量分析システムエリア(平成25年度以降入学者)、計量ファイナンスシステムエリア(平成24年度以前入学者)。FH22051と同一。
FH26061	計量時系列分析	1	2.0	2-4	春AB	火3,4	3A203	三崎 広海, 秋山 英三	実証分析で使用する時系列解析の諸手法を概説すると共に、統計ソフトウェアを用いたデータ解析を通じて具体的な適用方法を習得する。	計量分析システムエリア(平成25年度以降入学者)、計量ファイナンスシステムエリア(平成24年度以前入学者)。FH22061と同一。
FH26071	日本経済論	1	2.0	2-4	春C夏季休業中	集中		高安 雄一	様々な経済指標を通じて日本経済の現状および課題について理解を深める。	計量分析システムエリア(平成25年度以降入学者)、公共システムエリア(平成24年度以前入学者)。FH23021と同一。

社会工学類(社会経済:国際・公共システムエリア) 平成25年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH27012	国際・公共システム演習	2	2.0	2-4	秋AB	火5,6	3C102, 3C110, 3A416	三崎 広海, Tran Lam Anh Duong, 秋山 英三	世界の多くの国々が抱える社会経済問題を、経済統計およびコンピュータを用い実証的に分析する。	エリア演習。国際・公共システムエリア(平成25年度以降入学者)、グローバルシステムエリア(平成24年度以前入学者)。平成24年度までのグローバルシステム演習に相当。FH21012と同一。 社会工学類3・4年次生を優先する

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH27021	国際開発論	1	2.0	2-4	秋学期	集中		木島 陽子	現在国際開発の分野で注目されている論点を取り上げ、発展途上国の現状について学ぶ。特にミクロ経済学的な視点から貧困削減をどのように進めることができるかについて分析する。	国際・公共システムエリア(平成25年度以降入学者)、グローバルシステムエリア(平成24年度以前入学者)。FH21031と同一。
FH27031	国際金融論	1	2.0	2-4	春AB	火5,6	3A402	Tran Lam Anh Duong, 秋山 英三	本授業では、国際金融の理解に不可欠な基本知識である国民経済計算や国際収支会計などはじめに学習し、その上で分析の鍵となる為替市場と金融市場との関係について学習する。そして短期・長期の為替レートの決定要因、国際金融と財政・金融政策の相互作用のメカニズムについて理解を深める。	国際・公共システムエリア(平成25年度以降入学者)、グローバルシステムエリア(平成24年度以前入学者)。BC11431, FH21041と同一。
FH27041	経済動学	1	2.0	2-4	秋AB	金3,4	3L202	ターンブル スティーヴン	経済動学は経済の動き方を論じる。市場安定性、経済成長論、ゲームにおける情報の動学。	国際・公共システムエリア(平成25年度以降入学者)、グローバルシステムエリア(平成24年度以前入学者)。FH21051と同一。英語で授業。6科目
FH27051	公共経済学	1	2.0	2-4	秋学期	集中			市場経済における政府の役割などを学ぶ。	国際・公共システムエリア(平成25年度以降入学者)、公共システムエリア(平成24年度以前入学者)。FH23031と同一。
FH27061	財政学	1	2.0	2-4	夏季休業中	集中		釣 雅雄	財政制度、政府支出、租税、財政赤字と政府債務、社会保障、財政政策といった「財政学」の基本テーマについて、理論と制度の両面から講義する。	国際・公共システムエリア(平成25年度以降入学者)、公共システムエリア(平成24年度以前入学者)。BB41521, FH23051と同一。9/11-15

社会工学類(社会経済:戦略行動システムエリア) 平成25年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH24012	戦略行動システム演習	2	2.0	2-4	秋AB	金5,6	3A209	栗野 盛光	社会経済制度をどのようにデザインするかというマーケットデザインを、問題演習や経済実験を通じて理解する。	エリア演習。戦略行動システムエリア。社会工学類3・4年次生を優先する
FH24021	ゲーム論	1	2.0	2-4	秋AB	水1,2	3A403	澤 亮治	ゲーム理論は、複数のエージェント(人、企業、国家)が相互作用をしようシステムを分析するツールとして、経済学及び様々な社会科学で広く応用されている。この講義では、複数の利己的なエージェントから成るシステムを分析するための数学的及び数理的基礎を学ぶ。また、ゲーム理論の基本的な概念とゲーム理論が経済的および社会的な現象をどう説明できるかを学ぶ。	戦略行動システムエリア
FH24031	意思決定論	1	2.0	2-4	秋AB	木1,2	3A312	中村 豊	社会・経済問題におけるさまざまな意思決定問題をモデル化するのに必要な基礎的な概念について学習する。たとえば、効用モデル、リスク態度、トレード・オフ、社会・グループ意思決定などを含む。	戦略行動システムエリア
FH24044	進化ゲーム論	4	2.0	2-4	春AB	月5,6	2H201	秋山 英三	社会科学に大きな影響を与えたダーウィン進化論と学習理論を概観し、進化ゲーム論の初歩を学ぶ。人間の進化・学習(適応)が身近な社会現象を生み出すメカニズムを、具体例を通して追求する。	戦略行動システムエリア
FH24071	経済行動論	1	2.0	2-4	秋AB	火3,4	3A202	上市 秀雄	人間の経済行動に心理学的な側面からアプローチし、経済行動の理念および経済行動に影響を及ぼす各要因について概観する。	戦略行動システムエリア
FH24091	文化行動論	1	2.0	2-4	秋C	月・木3,4	3A204	石井 健一	経済のグローバル化にもかかわらず、人間の行動には依然として大きな文化差が存在している。本講義では、消費行動や情報行動の領域において文化的要因がどのように影響しているのかを、実証的な行動科学的研究を中心に論じる。	戦略行動システムエリア(平成25年度以降入学者)、グローバルシステムエリア(平成24年度以前入学者)。AC33161, AC64441, FH21071と同一。

社会工学類(社会経済)専門科目(自由) 平成25年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH25011	社会経済特別講義I(人工社会入門)	1	1.0	2-4					社会経済分野の先端的かつ専門的な講義を行う。	2017年度開講せず。
FH25021	社会経済特別講義II(入門複雑系経済学)	1	1.0	2-4	秋学期	集中		花木 伸行	社会経済分野の先端的かつ専門的な講義を行う。	
FH25031	社会経済特別講義III(脳と社会)	1	1.0	2-4	夏季休業中	集中		奥田 次郎	社会経済分野の先端的かつ専門的な講義を行う。	
FH25051	国際貿易論	1	2.0	2-4	春AB	水1,2	3A306	内藤 久裕	As the economy becomes more globalized, it is becoming necessary to study the basic mechanism of international trade and its impact on welfare. In this course, we first study the concept of comparative advantage and study why countries will be engaged in international trade. Then, we study the impact on welfare by using several models. (The Ricardian, Heckscher-Ohlin and Specific Factor Model). Then, we study the monopoly model and its implication for international trade theory. In addition, we discuss the impact of international factor movement such as immigration and foreign direct investment.	西暦奇数年度開講。BB41601, BC11411, BE22271, FH21081と同一。英語で授業。JTP

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH25061	産業組織論	1	2.0	3・4	秋AB	火3,4	1C403	篠塚 友一	「企業と市場の経済学」について講義する。ミクロ理論とゲーム理論の分析用具を用いて、産業界の諸企業間の関係を考察する。	BB41281, FH24081と同一。

社会工学類(経営工学:マネジメントエリア) 平成25年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH32013	マネジメント実習	3	2.0	2-4	秋AB	木4-6	3E209	有馬 澄佳, 生稲 史彦, 岡田 幸彦	経営戦略, 管理会計, マーケティングなどについて総合的な理解を深めるため, チーム作業によって, 特定の課題解決を想定した実習を行う。	エリア実習。マネジメントエリア。 社会工学類2-4年(3年次履修推奨)
FH32021	産業・組織心理学	1	2.0	2-4	春AB	金3,4	3A403	渡邊 真一郎	本コースでは, ワーク・モチベーションに関する諸理論を, 実際の産業組織での応用例を踏まえながら, 広範囲にレビューする。また, 組織における人間の行動を活性化させたり方向づけたりする要因についての基礎的理解を深める。ワーク・デザイン, リーダーシップ・スタイル, 給与システム等のキーワードが理解の鍵となる。	BC12391と同一。 社会工学類生の取扱い: マネジメントエリア。平成28年度までの「経営組織論」に相当。
FH32031	マーケティング工学	1	2.0	2-4	秋AB	木1,2	3A308	近藤 文代	マーケティング工学は, マーケティング関連のデータを用いて分析を行う, 統計モデルコースとして位置付ける。講義でマーケティングモデルおよびマーケティング管理について概念も含めて説明し, その後, EXCELやRなどのソフトウェアを使って意志決定モデルを組み立てる。	マネジメントエリア
FH32041	ファイナンス	1	2.0	2-4	通年	集中		遠藤 操	金利の期間構造, 平均・分散ポートフォリオ理論, アセット・プライシング・モデル, 金融デリバティブのプライシング等について解説する。	マネジメントエリア
FH32061	国際企業論	1	1.0	2-4	夏季休業中	集中		小山 明宏	多国籍企業の経営行動と組織戦略を経営環境とのつながり, 文化起源も含めて展開する。経営の中の国際人育成を目指す。	マネジメントエリア G科目
FH32071	保険数理	1	1.0	2-4					人生のリスクに関わる保険と年金の分野で数理が果たしている役割を解説する。保険では, 保険(事業)の経済的・社会的な機能と保険数理について扱う。年金では, 公的・私的年金の制度と年金数理について扱う。	マネジメントエリア。 2017年度開講せず。
FH32081	経営学	1	2.0	2-4	秋AB	火3,4	3A403	生稲 史彦	経営は社会において欠くべからざるものです。社会には, 一人では成し遂げられず, 複数の人が取り組む必要がある課題が存在します。そうした課題に力をあわせて取り組んでいくためには, 人々に正しい筋道(経)を提示し, 活動を整える(営)必要があります。経営学はこの筋道と活動の調整を主に考え抜く学問です。本講義では, 経営について積み重ねられてきた学術的知見を教授します。考察の対象は, 皆さんが日々接する企業や組織の中の経営という現象です。主に, 人々の活動の筋道を示す戦略論と, 人々の活動を整える組織論を中心に説明をします。この講義を通じて, 自らの力で経営について深く理解し, よりよい経営のあり方を構想し, 実践できる人材になれるように基礎作りをします。ただし, 講義で扱える内容は初歩的なものであるので, 一人でも多くの学生さんが学問としての経営に興味を持ち, 講義の後も学び続けられるように指導したいと思います。	マネジメントエリア(平成25年度以降入学者), 経営工学基礎エリア(平成24年度以前入学者)。 FH31081と同一。
FH32091	生産・品質管理	1	2.0	2-4	春C 夏季休業中	火・金 3,4 集中	3A202, 3C104	有馬 澄佳, 川村 大伸	生産・品質管理の概念, 統計的品質管理手法, 在庫理論, 信頼性工学について解説する。	マネジメントエリア(平成25年度以降入学者), 数理工学モデル化エリア(平成24年度以前入学者)。 FH34061と同一。

社会工学類(経営工学:情報技術エリア) 平成25年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH33013	情報技術実験	3	2.0	2-4	秋ABC	火5,6	3C104	張 勇兵, 八森 正泰, 安東 弘泰	前半の5週はオブジェクト指向プログラミングの入門実習を行う。後半10週はLinuxのネットワークを題材に, システム管理の技術とネットワークの仕組みを学ぶ。	エリア実習。情報技術エリア。 社会工学類2-4年(2年次履修推奨)
FH33021	計算機科学	1	2.0	2-4	秋AB	金3,4	3A207	繁野 麻衣子, Phung-Duc Tuan	データ構造とアルゴリズム, 計算の複雑性の基礎について学び, コンピュータ・ネットワーク上での応用例を幾つか紹介する。	情報技術エリア
FH33031	経営情報システム	1	2.0	2-4	秋C	月・木 3,4	3A203	倉田 久	経営情報システム(Management Information Systems), つまり経営におけるコンピュータ・システム的应用と企業の情報化に関する基本的な知識を講義する。	情報技術エリア
FH33051	シミュレーション	1	2.0	2-4	秋C	火・金 3,4	3A301	繆 瑩, 安東 弘泰	できるだけ少ない実験で偏りのないデータを得るための技術(実験計画法), および, コンピュータ上で実験するための計算技法(計算機シミュレーション)を学ぶ。	情報技術エリア
FH33061	情報ネットワーク	1	2.0	2-4	春AB	木3,4	3A312	張 勇兵, 繆 瑩	ネットワークの基本構成や形態などについて解説し, 電子メール, WWWなど実際の応用例を用いて実習を混ぜながらインターネットについて解説する。また, ネットワークセキュリティの脅威と対策, 暗号システムと認証方式, 鍵管理方式についても解説する。	情報技術エリア

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH33071	データ解析	1	2.0	2-4	春AB	木1,2	3C102, 3C114	金澤 雄一郎	統計学の内容を踏まえて、データをいかに解析するかを学ぶ。理論の講義と統計パッケージを用いた実習を併行して進める。統計理論を生きた知識として使えるようにするのがこの授業の目的である。	情報技術エリア(平成25年度以降入学者)、経営工学基礎エリア(平成24年度以前入学者)。FH31051と同一。

社会学類(経営工学:数理工学モデル化エリア) 平成25年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH34013	数理工学モデル化実習	3	2.0	2-4	春AB	火3-5	3E209, 3C114	繁野 麻衣子, 吉瀬 章子, 小林 佑輔	数理工学モデル化エリアの各授業において学んだ、様々な工学的なツール(モデル)に関する基礎知識を、問題演習や実習を通して、さらに「使える」知識として定着させることを目標とする。	エリア実習。数理工学モデル化エリア。社会学類2-4年(3年次履修推奨)
FH34031	数理最適化法	1	2.0	2-4	春C	月・木 3,4	3A204	繁野 麻衣子, 吉瀬 章子	数理計画におけるいくつかのテーマ(線形計画法, 非線形計画法, グラフ理論, 組み合わせ最適化法 等)を取り上げ、代表的な算法や基礎的な理論について概説を与える。	数理工学モデル化エリア。平成24年度までの「数理計画」に相当。
FH34051	応用確率過程	1	2.0	2-4	秋AB	月5,6	3A306	Phung-Duc Tuan, 繆 瑩	時間的に変化する確率的現象をマルコフ過程などの確率過程としてモデル化し解析する手法を説明する。人口モデル, システムの信頼性, 在庫管理, 待ち行列, コンピュータと通信網の性能評価などへの応用例を紹介する。	数理工学モデル化エリア
FH34081	数理解析	1	2.0	2-4	春AB	金5,6	3A312	岸本 一男	1学年の微分積分学に接続して、より高度の微分積分学を説明する。主たる内容は、一般 m 次元での微分積分学と定数係数線形常微分方程式、ならびにその応用である。	FH33061と同一。数理工学モデル化エリア(平成25年度以降入学者)、専門基礎科目(平成24年度以前入学者)。
FH34091	応用確率論	1	2.0	2-4	春C	火・木 5,6	3A306	竹原 浩太	初歩的な確率の考え方や計算技術をファイナンス等への応用を通じて習得する。確率空間, 連続および離散的確率分布, 積率母関数とモーメント, 同時確率分布と条件付き確率, 大数の法則, 中心極限定理などをカバーする予定。	数理工学モデル化エリア(平成25年度以降入学者)、経営工学基礎エリア(平成24年度以前入学者)。FH31061と同一。
FH34101	数理統計学	1	2.0	2-4	秋AB	金1,2	総合 B0110	イリチュ 美佳	多変量データを素材とした数理統計学の基礎的知識とそれに基づいた応用や適用手法について学ぶ。	数理工学モデル化エリア(平成25年度以降入学者)、経営工学基礎エリア(平成24年度以前入学者)。FH31071と同一。初回授業の10/6(金)のみ総B0112で実施する。

社会学類(経営工学共通) 平成25年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH35013	問題発見と解決	3	2.0	3-4	秋BC	金5,6	3E209	吉瀬 章子, 有馬 澄佳	経営工学専攻で学んだ基礎知識を用いて、自らテーマを設定し、モデル化, ソリューションの導出, ソリューションの検討からなる一連のプロセスを経験するとともに、ディスカッションとプレゼンテーションのトレーニングを行う。学外への視野を広げるため、社会で活躍する方々を招いての事例講義や他大学の学生による交流発表会も予定している。	必修科目(経営工学専攻) CDP

社会学類(都市計画:環境とまちづくりエリア) 平成25年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH46013	住環境計画実習	3	2.0	3-4	春C	火・金 3-6	3C402, 3C403, 3C404, 3C405	渡辺 俊, 藤川 昌樹, 藤井 さやか, 雨宮 護, 山本 幸子, 神田 信孝	都市・建築空間の設計能力向上を目指す演習である。2年次までに開講された設計関連科目(基本製図, 設計演習)を受講した学生が、これまでに習得した設計製図における基礎手法を用い、集合住宅の設計方法と設計技術を身につける。	原則として「基本製図」既履修者に限る。環境とまちづくりエリア(平成25年度以降入学者)。FH42073と同一。まちづくりと都市設計の実践エリア(平成24年度以前入学者)、「基本製図」と併せて履修することで「アメニティ創造のまちづくり実習」に相当。平成24年度以前に「アメニティ創造のまちづくり実習」を履修したものの履修は不可。
FH46021	住まいと居住環境の計画	1	2.0	2-4	春AB	月5,6	3A202	雨宮 護, 山本 幸子	最も身近な建築である住まいは、建築の基本であると同時に、都市をつくる重要な構成要素でもある。本講義では、日本における住まいの歴史、戦後の社会状況・ライフスタイルの変化が都市・農村の住宅や居住環境に与えた影響と今日的課題について解説する。さらに少子高齢・人口減少の進行とグローバル化の進展、ストック活用型社会におけるこれからの住まいづくり、まちづくりについて考える。	環境とまちづくりエリア(平成25年度以降入学者)、まちづくりと都市設計の実践エリア(平成24年度以前入学者) B012551, FH42041と同一。
FH46031	都市空間の計画とデザイン	1	2.0	2-4	秋BC	木5,6	3A301	渡辺 俊	建築・都市デザインの潮流を概説するとともに、魅力的な空間を創出するための様々なヴォキャブラリーを紹介する。次に、それらの機能的構成と建築基準法(単体規定)等の建築関連規定について説明する。また、デザイン課題を通して空間設計に必要な基礎的素養を習得する。	環境とまちづくりエリア(平成25年度以降入学者)、まちづくりと都市設計の実践エリア(平成24年度以前入学者)。FH42021と同一。住環境計画実習に向けた内容の講義であり、「2年次」での履修を強く推奨する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH46041	都市緑地計画	1	2.0	2 - 4	秋AB	金1, 2	3A403	村上 暁信	自然環境や歴史資源、オープンスペース等の保全を基調とした都市・地域計画のあり方について、その歴史的展開や現代的課題、将来方向を、具体例を交えながら体系的に論ずる。	環境とまちづくりエリア(平成25年度以降入学者)、まちづくりと都市設計の実践エリア(平成24年度以前入学者)。FH42031と同一。平成24年度までの「都市環境保全計画」に相当。
FH46051	現代まちづくりの理論と実践	1	2.0	2 - 4	春AB	木5, 6	3A403	藤川 昌樹, 有田 智一, 藤井 さやか, 川島 宏一, 雨宮 護, 村上 暁信, 山本 幸子	現代のまちづくりの理論的背景として、20世紀の計画理論を批判的に振り返り、計画プロセス、参加、計画行政及び計画手法、計画法規等について論じる。さらに、現代まちづくりの実践がどのような形で展開されているか、中心市街地や都市と農村の混在混住地域の再生、持続可能な環境共生型まちづくり、等のトピックを取り上げて解説する。	環境とまちづくりエリア(平成25年度以降入学者)、まちづくりと都市設計の実践エリア(平成24年度以前入学者)。FH42051と同一。2年次履修推奨科目(都市計画主専攻)
FH46061	都市文化共生計画	1	2.0	2 - 4	秋AB	火1, 2	3B405	松原 康介	現代は多文化共生の時代である。今後の都市空間は、日本文化、欧米文化だけでなく、中国、韓国、インド、イスラームといった、アジアの諸文化との共生が求められる。本講義の前半では、一見複雑で無秩序に見えるアジア諸国の都市空間の構成を、歴史と現地映像から読み解いていく。後半では、現代におけるアジア的空間の非アジア都市への伝播の実態を踏まえて、多文化共生の都市計画に必要なアイデアや方法とは何かを考えていく。	BC12541, FH42061と同一。社会工学類学生の取り扱い:環境とまちづくりエリア(平成25年度以降入学者)、まちづくりと都市設計の実践エリア(平成24年度以前入学者)

社会工学類(都市計画:都市構造・社会基盤エリア) 平成25年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH47013	都市計画マスタープラン実習	3	3.0	3・4	秋ABC	金3-6	3A405, 3C402, 3C403	岡本 直久, 大澤 義明, 有田 智一, 堤 盛人, 村上 暁信, 山崎 清, 近藤 美則, 石井 儀光, 鬼頭 朋見	土浦市を含む茨城県南地域を対象とし、交通予測・土地利用予測ソフトウェアを利用し、地理情報システム(GIS)等を用いた資料作成やプレゼンテーションを通して、都市計画マスタープランや市町村総合計画の策定過程を習得する。最終発表会を土浦市で開催する。	エリア実習。都市構造・社会基盤エリア(平成25年度以降入学者)、都市機能とフィジカルプランニングエリア(平成24年度以前入学者)。平成24年度までの「都市計画マスタープラン策定実習」に相当。FH43013と同一。社会工学類3・4年次生を優先する
FH47021	土地利用・地区整備計画	1	2.0	2 - 4	春AB	水1, 2	3A308	藤井 さやか	都市地域における土地利用計画を中心に、国・地域レベルから地区レベルまでの土地利用計画の形態、目的、機能を概説するとともに、地区レベルの市街地整備方策として、都市計画の方法としての地区計画や建築基準法(集団規定)等の法規について基本的な知識を学ぶ。	都市構造・社会基盤エリア(平成25年度以降入学者)、都市機能とフィジカルプランニングエリア(平成24年度以前入学者)。FH43021と同一。2年次履修推奨科目(都市計画主専攻)
FH47034	都市環境評価論	4	2.0	2 - 4	春AB	金1, 2	3A306	吉野 邦彦, 村上 暁信, 甲斐田 直子	良好で快適かつ安全・安心な都市環境を維持、実現するためには、都市の環境を理解することが必要である。本授業では、都市の水環境、気候、土地利用と生態系、生活およびライフスタイルの基礎知識と都市環境を定量的に計測・評価する手法(アセスメント手法等)について概説する。最終週では総合討論を行い、地球環境問題と都市環境問題との関連性について理解を深める。本講義を通じて、環境と調和した都市像を考えて欲しい。	都市構造・社会基盤エリア(平成25年度以降入学者)、都市計画共通エリア(平成24年度以前入学者)。平成24年度までの「都市データ分析」に相当。FH41064と同一。
FH47041	都市防災計画	1	2.0	2 - 4	春AB	木3, 4	3A306	糸井川 栄一	都市災害の特徴を分析した上で、都市における各種災害の発生・拡大メカニズム、予測手法について事例を踏まえて示し、これらの防止対策及び都市防災計画の立案手法を都市計画との関連で解説する。	都市構造・社会基盤エリア(平成25年度以降入学者)、都市機能とフィジカルプランニングエリア(平成24年度以前入学者)。FH43041と同一。
FH47051	交通運輸政策	1	2.0	2 - 4	春AB	木1, 2	2H101	岡本 直久, 谷口 綾子	道路、鉄道、交通結節施設の機能、構造基準の解説とともに、これらの交通施設の計画とその相互連携による交通管理計画について事例をもとに概説し、あわせて計画の要素、考慮すべき要因、要因相互の関係などについて論ずる。	都市構造・社会基盤エリア(平成25年度以降入学者)、都市機能とフィジカルプランニングエリア(平成24年度以前入学者)。FH43031と同一。平成24年度までの「交通計画」に相当。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH47061	社会基盤と国土	1	2.0	2-4	秋C	火・金 1,2		岡本 直久, 谷口 守, 堤 盛人, 谷口 綾子	日本の社会基盤政策および地域・国土計画の歴史を振り返り、欧米諸国との比較や最近の動向を踏まえて、国土・地域計画のあり方、社会基盤整備のあり方について考える。現代における社会基盤の役割や関連政策を理解する上で必要となる概念・用語を修得する。また、我が国や開発途上国における関連法制度、計画制度の現状と課題について理解したうえで、将来にむけた社会基盤と国土のあり方についての提案ができることを目指す。	社会工学類学生の取り扱い:都市構造・社会基盤エリア(平成25年度以降入学者対象)、都市機能とフィジカルプランニングエリア(平成24年度以前入学者)。BC12741, FH43071と同一。平成29年度(2017年度)にて、本科目は閉講する。

社会工学類(都市計画:地域科学エリア) 平成25年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH48012	地域科学演習	2	2.0	3-4	秋ABC	月5,6	3A405, 3C104	太田 充, 梅本 通孝, 牛島 光一, 鬼頭 朋見	都市・地域・環境経済学的手法・テーマ・データで実証分析を行い、政策的な課題を分析する視点・手法を修得する。	エリア演習。地域科学エリア(平成25年度以降入学者)、都市・地域・環境の経済エリア(平成24年度以前入学者)。平成24年度までの「都市地域経済学演習」に相当。FH44012と同一。社会工学類3・4年次生を優先する
FH48021	都市経済学	1	2.0	2-4	秋C	月・木 1,2	3A402	太田 充, 牛島 光一	都市経済学と立地論の分析手法の基礎を習得し、都市・地域・国際取引に関する政策についての知識を学ぶ。	BB41441, BC12701, FH44051と同一。G科目 地域科学エリア(平成25年度以降入学者)、都市・地域・環境の経済エリア(平成24年度以前入学者)。平成24年度までの「空間と交通の経済学」に相当。
FH48031	都市と地域の経営・行政論	1	2.0	2-4	秋AB	水1,2	3A306	有田 智一, 川島 宏一	公共政策のあり方とその担い手の変化に係る近年の新たな潮流を踏まえつつ、公共政策における政策決定・実施・評価のあり方を概説する。更に、日本の国土計画、および都市地域政策の経緯を振り返り、欧米諸国との比較を踏まえつつ、今後の都市・地域経営のあり方について考える。	地域科学エリア(平成25年度以降入学者)、都市・地域・環境の経済エリア(平成24年度以前入学者)。FH44021と同一。2年次履修推奨科目(都市計画専攻)
FH48041	都市・地域・国土の政策評価	1	2.0	2-4	春AB	火1,2	3A306	堤 盛人	都市・地域・国土を対象とした政策を念頭に政策評価の現状について説明するとともに、社会資本整備プロジェクトを対象に、経済分析(費用便益分析)・財務分析・プロジェクトに関する金融について説明する。	地域科学エリア(平成25年度以降入学者)、都市計画共通エリア(平成24年度以前入学者)。平成24年度までの「プロジェクトの評価とファイナンス」に相当。FH41051と同一。
FH48051	都市解析	1	2.0	2-4	秋C	月・木 3,4	3A312	大澤 義明, 鈴木 勉, 石井 儀光, 本間 裕大	都市をある視点から抽象化すると、点や線や面の織りなすパターンとみなすことができる。そこで、都市機能の面から、これらのパターンを分析する場合の数理的基礎について論ずる。	地域科学エリア(平成25年度以降入学者)、都市機能とフィジカルプランニングエリア(平成24年度以前入学者)。FH34071, FH43051と同一。FH34071は経営工学専攻数理工学モデル化エリア(平成24年度以前入学者)。
FH48061	環境政策論	1	2.0	2-4	秋AB	火3,4	3A301	奥島 真一郎	本科目では、主に経済学的な観点から、環境保全のための政策手段やその評価手法について考察する。加えて、様々な価値観、ディンプリンと政策インプリケーションとの関係について考察し、「環境問題」や「環境政策」に対する多様な視点を涵養する。また、地球温暖化問題や廃棄物問題など具体的な環境問題についての理解を深める。	国際総合学類開講、社会工学類共通科目。BC12571, FH44061と同一。国際開発学専攻専門科目。社会工学類学生の取り扱い:地域科学エリア(平成25年度以降入学者)、都市・地域・環境の経済エリア(平成24年度以前入学者)。

社会工学類(都市計画共通) 平成25年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH45013	都市計画インターンシップ	3	2.0	3-4	通年	応談		大澤 義明, 雨宮 護	都市計画と関連のある官公庁、研究所、企業、非営利団体などで研修を行い、実践的な問題発見と解決能力を身につける。	必修科目 CDP 社会工学類3・4年次生を優先する。インターンシップは夏季休業中に行う。
FH45051	建築関連法規	1	1.0	2-4	秋学期	集中		飯田 直彦, 五條 渉, 成田 潤也	建築基準法を主体に、都市計画・土地利用関係法令、建設事業関係法令など、建築全般に関する法令を、実例を引用して具体的に講義することにより、法令の基礎的な仕組みを理解する。	
FH45061	建築経済	1	1.0	2-4	秋B	集中		高橋 暁	建築活動の経済的側面と建築のライフサイクル、建築の管理に関わる基礎知識を習得する。	12/2,3(9:00-17:00)
FH45071	建築生産	1	1.0	2-4	秋学期	集中		川上 敏男	建築生産の概要について演習・現場をまじえながら理解し、その基礎習得を目指す学生向けの講義である。集中講義ではあるが、見学をふくめ現場での実際のものつくりを建築施工の工程をふまえながら、体感することに取り組む。	



科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH45081	都市計画の思想史	1	2.0	2-4	春C	月・木 5,6	3A403	松原 康介	都市計画を学ぶことは、一義的には都市を制御するための技術を習得し職能として身に付けることを意味するが、その成立の背景で積み重ねられてきた多くの試行錯誤の歴史を知ることは、都市計画と人間の関わりのあるあり方を客観的にとらえ、技術と倫理の関わり方を考える力を養うことにつながる。本講義では、都市計画の基礎的なトピックを対象に、その成立に関わった人々の考え方や言葉を「しつこく丁寧に掘り下げて」議論する。テキストや写真、図面など、できるだけ多くの生資料に触れて頂く。 国際の学生にとっては、世界史もふまえた広い切り口からの都市計画への入門講座として位置付けられる。また、社生にとっては、普段学んでいる技術としての都市計画の成立の背景に、どんな人々のどのような考え方が潜んでいたのかを再認識する機会として頂きたい(もちろん、他学類の学生も歓迎します)。	BC12751と同一。
FH45092	設計演習II	2	2.0	3-4	秋A	木3-6	3C405	藤川 昌樹, 渡辺 俊, 藤井 さやか, 雨宮 護, 山本 幸子	空間の設計能力向上を目指す建築設計製図演習である。1-3年次に「設計演習I」(または「空間演習I」及び「街並みデザイン演習」)、「基本製図」及び「住環境計画実習」(または「アメニティ創造のまちづくり実習」)を受講した学生が、これまでに習得した設計製図における基礎手法を用い、より高度な設計方法と設計技術を身に付けることを目標とする。	平成24年度までの「空間演習II」に相当
FH45123	都市計画実習	3	3.0	3-4	春AB	火4,5 金3-6	3C403, 3C402, 3C405	糸井川 栄一, 奥島 真一郎, 甲斐田 直子, 川島 宏一, 鈴木 勉, 谷口 綾子, 谷口 守, 吉野 邦彦	特定の地域、都市を取り上げて、都市・地域計画上の問題の発見と図面作成等の作業を通じて地域整備の課題を把握する。	必修科目(都市計画専攻、平成25年度以降入学者)。エリア実習(都市計画共通エリア、平成24年度以前入学者)。BC12713, FH41013と同一。社会学類3・4年次生と国際総合学類の学生を優先する
FH45135	都市計画事例講義および実習	5	3.0	2-4	秋AB	火5,6 応談	3A312	大澤 義明, 糸井川 栄一, 岡本 直久, 藤井 さやか, 雨宮 護, 梅本 通孝	都市計画に関する実際の事業や業務は、様々な法制度による規制等を受けたり、多くの組織との交渉の結果、成立したりするものである。そこで卒業生が実際に関わった開発事例等をとり上げ、実社会における業務、内容や法規(建築基準法, 都市計画法, 建築士法, 建設業法等)を理解しつつ、必要な見識と成功する条件等について議論する。	見学を3回程度集中で夏季休業中に行う。 FH41025と同一。 都市計画共通(平成25年度以降入学者)、都市計画共通エリア(平成24年度以前入学者)、「住環境計画実習」と併せて履修することで「アメニティ創造のまちづくり実習」に相当
FH45143	基本製図	3	1.0	2	秋A	金3,4	3C114	渡辺 俊	社会学類都市計画専攻において、都市・建築空間の設計能力向上を目指す学生向けの演習である。住宅の設計に必要な建築の基本図面(配置図, 平面図, 断面図, 立面図等)の描き方と関連する基礎知識を習得する。	都市計画共通(平成25年度以降入学者)、まちづくりと都市設計の実践エリア(平成24年度以前入学者)、「住環境計画実習」と併せて履修することで「アメニティ創造のまちづくり実習」に相当 FH42093と同一。 原則として「都市計画情報実習」既履修者に限る。平成24年度以前に「アメニティ創造のまちづくり実習」を履修したものの履修は不可。
FH45182	設計演習I	2	2.0	2	秋BC	金3,4	3A308	山本 幸子, 藤川 昌樹, 渡辺 俊, 藤井 さやか, 雨宮 護, 今井 信博	社会学類都市計画専攻において、都市・建築空間の設計能力向上を目指す学生向けの演習である。木造住宅の設計を通して木造建築の基礎を習得し、住宅の計画・建築設計の基礎知識と技術を身に付けることを目標とする。	原則として「基本製図」既履修者に限る。平成24年度以前に「空間演習I」を履修したものの履修は不可

社会学類共通: 卒業研究 平成25年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH11918	卒業研究A	8	4.0	4	春ABC	応談		社会学類各教員	指導教員の指導のもとに、学類でのまとめとなる研究を行う。研究の基本的習慣を学ぶとともに、テーマを決め、研究に着手する。	必修科目。平成25年度以降入学者対象科目。
FH11928	卒業研究B	8	4.0	4	秋ABC	応談		社会学類各教員	指導教員の指導のもとに、学類でのまとめとなる研究を行う。テーマに沿って研究を実施する。研究成果を論文にまとめ、発表を行う。	必修科目。平成25年度以降入学者対象科目。
FH11988	早期卒業研究	8	4.0	3	通年	応談		社会学類各教員	指導教員の指導の下に早期卒業の該当者が研究を行い、研究成果を論文にまとめ、発表を行う。	平成25年度以降入学者対象科目。

社会学類(その他) (JTP学生のみ対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH00048	特別研究A	8	3.0	1-4	春学期	応談		社会学類各教員	The students will do their own research under supervision of faculty members.	JTP学生のみ対象 英語で授業。 JTP

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH00058	特別研究B	8	3.0	1-4	秋学期	応談		社会工学類各教員	The students will do their own research under supervision of faculty members.	JTP学生のみ対象 英語で授業。 JTP

社会工学類共通:専門基礎科目(必修) 平成24年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH60013	社会工学実習	3	2.0	1	春AB	金4-6	3A203, 3A207, 3A212, 3C108, 3C110, 3C102, 3C104, 3C114	秋山 英三, 安東 弘泰, 栗野 盛光, 有田 智一, 岡田 幸彦, 小林 佑輔, 両宮 護, 澤 亮治, 村上 暁信	社会工学を体系として, 方法, 手法, 応用の3種類にわたって概観し, 社会工学の基本概念を明らかにする。具体的事例により, 社会工学的問題解決についての手法の初歩を学習する。	CDP 必修科目。初回は3A202教室に集合。
FH60113	社会調査実習	3	2.0	2	秋AB	月4-6	3A402, 3E209	石井 健一, 両宮 護, 近藤 文代	社会調査の基本手法を講義し, 実習を行う。	1年次生の履修は不可(ただし, 在学2年目以降の学生を除く) 必修科目
FH60211	情報リテラシー	1	1.0	1	春AB	水1	3A403	八森 正泰, 張 勇兵, 大久保 正勝, 安東 弘泰, 岡本 直久	(1) 計算機の基礎理論(情報の表現, 論理回路, プログラム言語, OS, ネットワーク, 計算の理論等)の入門的講義を行う。 (2) 初めて計算機を学ぶ学生を対象にコンピュータの基本操作ならびにホームページ作成に必要なHTMLに関する知識を理解する。 ただし, 「FH60214 情報リテラシー・演習」は上記(1)(2)の両方, 「FH60211 情報リテラシー」は(1), 「FH60312 情報リテラシー演習」は(2)の部分を履修すること。	必修科目。平成24年度以前入学者は[FH60211+FH60312]を, 平成25年度以降入学者はFH60214を履修すること。 FH60214の一部と共通。
FH60312	情報リテラシー演習	2	1.0	1	春AB	水2	3C102, 3C104, 3C114	八森 正泰, 張 勇兵, 大久保 正勝, 安東 弘泰, 岡本 直久	(1) 計算機の基礎理論(情報の表現, 論理回路, プログラム言語, OS, ネットワーク, 計算の理論等)の入門的講義を行う。 (2) 初めて計算機を学ぶ学生を対象にコンピュータの基本操作ならびにホームページ作成に必要なHTMLに関する知識を理解する。 ただし, 「FH60214 情報リテラシー・演習」は上記(1)(2)の両方, 「FH60211 情報リテラシー」は(1), 「FH60312 情報リテラシー演習」は(2)の部分を履修すること。	必修科目。平成24年度以前入学者は[FH60211+FH60312]を, 平成25年度以降入学者はFH60214を履修すること。 FH60214の一部と共通。
FH60413	プログラミング実習	3	2.0	1	秋ABC	水1,2	3A202, 3C102	佐野 幸恵, 秋山 英三	プログラム言語についての講義と実習を通じてプログラミングの基礎的な概念について学ぶ。	1,2クラス 必修科目
FH60423	プログラミング実習	3	2.0	1	秋ABC	水1,2	3A202, 3C104	Phung-Duc Tuan, 繆 瑩	プログラム言語についての講義と実習を通じてプログラミングの基礎的な概念について学ぶ。	3,4クラス 必修科目
FH60433	プログラミング実習	3	2.0	1	秋ABC	水1,2	3A202, 3C114	太田 充	プログラム言語についての講義と実習を通じてプログラミングの基礎的な概念について学ぶ。	5,6クラス 必修科目
FH60511	微積分I	1	2.0	1-2	春AB	火2 木1	3A405	中村 豊	微積分の基礎になる $\epsilon-\delta$ 論法を使い, 数列の収束や関数の連続性などを教える。また1変数の微分と積分について教える。	プレイズメントテストに基づくクラス分けを行い, 受講クラスを決定 必修科目(平成24年度以前入学者), 選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH60521	微積分I	1	2.0	1-2	春AB	火2 木1	3A409	小林 佑輔	微積分の基礎になる $\epsilon-\delta$ 論法を使い, 数列の収束や関数の連続性などを教える。また1変数の微分と積分について教える。	プレイズメントテストに基づくクラス分けを行い, 受講クラスを決定 必修科目(平成24年度以前入学者), 選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH60531	微積分I	1	2.0	1-2	春AB	火2 木1	3B405	大澤 義明	微積分の基礎になる $\epsilon-\delta$ 論法を使い, 数列の収束や関数の連続性などを教える。また1変数の微分と積分について教える。	プレイズメントテストに基づくクラス分けを行い, 受講クラスを決定 必修科目(平成24年度以前入学者), 選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH60541	微積分II	1	2.0	1-2	秋AB	火2 木1	3B402	岸本 一男	多変数の関数の微分と積分, その応用について学ぶ。具体的には, 偏微分, 全微分, 高次偏導関数, テイラーの定理, 極値問題, 陰関数定理, 重積分, 累次積分, 広義重積分, 変数変換。	1,2,3クラス 必修科目(平成24年度以前入学者), 選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH60551	微積分II	1	2.0	1-2	秋AB	火2 木1	3A301	糸井川 栄一	多変数の関数の微分と積分, その応用について学ぶ。具体的には, 偏微分, 全微分, 高次偏導関数, テイラーの定理, 極値問題, 陰関数定理, 重積分, 累次積分, 広義重積分, 変数変換。	4,5,6クラス 必修科目(平成24年度以前入学者), 選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH60611	線形代数I	1	2.0	1-2	春AB	火・金1	3B405	鈴木 勉	具体例を用いて, 線形代数の抽象的な概念を理解する。内容は, 1. 行列とベクトル, 2. 連立方程式の解法, 3. 行列式。	1,2,3クラス 必修科目(平成24年度以前入学者), 選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH60621	線形代数I	1	2.0	1-2	春AB	火・金1	3A209	佐野 幸恵, 秋山 英三	具体例を用いて, 線形代数の抽象的な概念を理解する。内容は, 1. 行列とベクトル, 2. 連立方程式の解法, 3. 行列式。	4,5,6クラス 必修科目(平成24年度以前入学者), 選択必修科目(平成25年度以降入学者)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH60641	線形代数II	1	2.0	1・2	秋AB	火・金1	3B402	堤 盛人	具体例を用いて、線形代数の抽象的な概念を理解する。内容は、1. 線形空間、2. 線形写像、3. 固有値・固有ベクトル、4. さまざまな応用。	1, 2, 3クラス 必修科目(平成24年度以前入学者)、選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH60651	線形代数II	1	2.0	1・2	秋AB	火・金1	3A306	繆 瑩	具体例を用いて、線形代数の抽象的な概念を理解する。内容は、1. 線形空間、2. 線形写像、3. 固有値・固有ベクトル、4. さまざまな応用。	4, 5, 6クラス 必修科目(平成24年度以前入学者)、選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH60711	統計I	1	2.0	1・2	春AB	火・木4	総合B0110	イリチュ 美佳	データを分析する上での具体的な手法やモデル、その応用について講義する。内容は、データの整理、確率の基本的考え方、確率変数、分布関数・密度関数、標本分布、母数の推定、仮説検定。	1, 2, 3クラス 必修科目(平成24年度以前入学者)、選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH60721	統計I	1	2.0	1・2	春AB	火・木4	3A209	原田 信行	データを分析する上での具体的な手法やモデル、その応用について講義する。内容は、データの整理、確率の基本的考え方、確率変数、分布関数・密度関数、標本分布、母数の推定、仮説検定。	4, 5, 6クラス 必修科目(平成24年度以前入学者)、選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH60741	統計II	1	2.0	1・2	秋AB	火・木4	3A306	牛島 光一, 鈴木 勉	データを分析する上での具体的な手法やモデル、その応用について講義する。	1, 2, 3クラス 必修科目(平成24年度以前入学者)、選択必修科目(平成25年度以降入学者)
FH60751	統計II	1	2.0	1・2	秋AB	火・木4	3A416	五十嵐 岳, 繁野 麻衣子	データを分析する上での具体的な手法やモデル、その応用について講義する。	4, 5, 6クラス 必修科目(平成24年度以前入学者)、選択必修科目(平成25年度以降入学者)

社会工学類共通: 専門基礎科目(選択) 平成24年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH11011	社工専門英語	1	1.0	2	春AB	水3	3A305	ターンブル スティーヴン	社会経済システム分野の基礎的概念を英語で学ぶ。	必修科目(平成25年度以降入学者)。社会経済システム専攻学生に限る。 選択必修科目(平成24年度以前入学者)平成24年度以前入学者は、FH61041「社工専門英語別講」と併せて履修することでFH61011「Introduction to Social and Economic Sciences」に相当。平成25年度以前にFH61011, FH61021またはFH61031を履修したものの履修は不可。
FH11021	社工専門英語	1	1.0	2	春AB	水3	3A207	小林 佑輔	経営工学分野の基礎的概念を英語で学ぶ。	必修科目(平成25年度以降入学者)。経営工学専攻学生に限る。 選択必修科目(平成24年度以前入学者)平成24年度以前入学者は、FH61051「社工専門英語別講」と併せて履修することでFH61021「Introduction to Management Science and Engineering」に相当。平成25年度以前にFH61011, FH61021またはFH61031を履修したものの履修は不可。
FH11031	社工専門英語	1	1.0	2	春AB	水3	3A409	川島 宏一	都市・地域計画に関わる基礎的概念を英語で学ぶ。	必修科目(平成25年度以降入学者)。都市計画専攻学生に限る。 選択必修科目(平成24年度以前入学者)平成24年度以前入学者は、FH61061「社工専門英語別講」と併せて履修することでFH61031「Introduction to Urban and Regional Planning」に相当。平成25年度以前にFH61011, FH61021またはFH61031を履修したものの履修は不可。
FH61041	社工専門英語別講	1	1.0	2	春AB	随時		ターンブル スティーヴン	社会経済システム分野の基礎的概念を英語で学ぶ。	選択必修科目。平成24年度以前入学者対象科目。FH11011「社工専門英語」と併せて履修することでFH61011「Introduction to Social and Economic Sciences」に相当。社会経済システム専攻学生に限る。社工専門英語別講単独での履修は不可。 平成25年度以前にFH61011, FH61021またはFH61031を履修したものの履修は不可。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH61051	社工専門英語別講	1	1.0	2	春AB	随時		小林 佑輔	経営工学分野の基礎的概念を英語で学ぶ。	選択必修科目。平成24年度以前入学者対象科目。FH11021「社工専門英語」と併せて履修することでFH61021「Introduction to Management Science and Engineering」に相当。経営工学専攻学生に限る。社工専門英語別講単独での履修は不可。 平成25年度以前にFH61011, FH61021またはFH61031を履修したものの履修は不可。
FH61061	社工専門英語別講	1	1.0	2	春AB	随時		川島 宏一	都市・地域計画に関わる基礎的概念を英語で学ぶ。	選択必修科目。平成24年度以前入学者対象科目。FH11031「社工専門英語」と併せて履修することでFH61031「Introduction to Urban and Regional Planning」に相当。都市計画専攻学生に限る。社工専門英語別講単独での履修は不可。 平成25年度以前にFH61011, FH61021またはFH61031を履修したものの履修は不可。
FH62012	社会経済システム情報演習	2	2.0	2	秋AB	木5, 6	3C102 3C110 3C114	上市 秀雄	統計分析用プログラムを利用した統計処理の基本概念と方法を実習を通して修得する。利用するOSはWindows。	必修科目(社会経済システム専攻, 平成25年度以降入学者), 選択必修科目(都市計画専攻, 平成25年度以降入学者)。1年次の履修は不可。 平成25年度までの「社会経済システム情報実習」に相当(選択必修科目, 平成24年度以前入学者)。平成25年度以前に「社会経済システム情報実習」を履修したものの履修は不可。
FH62033	都市計画情報実習	3	2.0	2	春AB	月4-6	3C110, 3C114	渡辺 俊, 吉野 邦彦	都市計画を考える際に不可欠な面的・空間的に広がりのある情報を測定する技術やコンピュータを用いて作成・分析するための基礎的な方法について、測量実習による実技と専門的アプリケーションを利用した課題を通じて修得する。	1年次の履修は不可 選択必修科目(都市計画専攻)。
FH63021	マクロ経済学	1	2.0	1・2	春AB	火6 金3	3A204	大久保 正勝	国内総生産, 利率, インフレ率, 成長率などが一國経済の中でどのように決定されるかを考える。また, 財政・金融政策がどのように経済活動に影響するかを議論する。	選択必修科目
FH63031	ミクロ経済学	1	2.0	1・2	秋AB	木5, 6	3A403		完全競争市場における資源配分に関する講義を行う。時間があれば不完全競争市場などについても講義する。	選択必修科目
FH63041	経営工学概論	1	2.0	1・2	春AB	月5, 6	3A204	倉田 久	社会学類の1・2年生を対象に初級レベルの経営工学を講義を行う。経営工学の100キーワードとして選出された経営工学の基本的概念やコンセプトを学ぶ。	選択必修科目
FH63051	会計学概論	1	2.0	1・2	秋AB	金3, 4	3A204	岡田 幸彦	前半は, 日商簿記検定3級レベルの記帳技術を体得する。後半は, 企業会計の全体像を理解する。大手監査法人のご協力のもと, 公認会計士の重要な社会的役割についても理解を深める。	選択必修科目
FH63061	数理解析	1	2.0	2	春AB	金5, 6	3A312	岸本 一男	線形代数・微積分と接続し, 多変数の解析学を, 社会学的な応用を念願において勉強する。	FH34081と同一。 数理工学モデル化エリア(平成25年度以降入学者), 専門基礎科目(平成24年度以前入学者)。
FH63071	都市計画原論	1	2.0	1・2	春AB	木5, 6	3A204	谷口 守	我々が暮らす都市はどのように形成されたのだろうか。また, そこに存在する様々な問題はどのように解決していけばよいのだろうか。本講義は都市のなりたちとその課題, 都市を構成するインフラや建築物, およびその計画の方法や将来展開について, 国内外の多様な事例をひもとく事を通じ, 本分野の入門として幅広い知識と知恵を身につけることを目的とする。	BC12721と同一。 選択必修科目。平成24年度までの「現代都市環境論」に相当。
FH63081	都市計画の歴史	1	2.0	1・2	秋AB	金5, 6	3A204	藤川 昌樹	古代から現代に至る都市・建築の歴史を概説し, 各時代の空間の特色と政治・経済・社会・技術的背景との関連について考察を進める。また, 現代に残された歴史的環境を保存するための制度・事例についても論述する。	BC12831と同一。 選択必修科目。平成24年度までの「都市空間の歴史」に相当。

社会学類共通: 専門基礎科目(自由) 平成24年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH63111	社会学特設講義(つくばの景観を考えよう)	1	1.0	1・2	秋C	火1, 2	3A405	大澤 義明, 近藤 美則, 石井 儀光	筑波大学キャンパスのリノベーションや常総市, 土浦市, 石岡市, 水戸市, つくば市の景観を検討するために, 景観シミュレーション演習を行う。2回の発表会を通してプレゼンテーション技術を向上させる。優秀作品については, 別途プレゼンテーションの機会を与える。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH63161	社会学特設講義 (LaTeX入門)	1	1.0	3	秋C	木5,6	3C102	繁野 麻衣子, 八森 正泰	文書作成システムLaTeXを実習も含めて習得する。これまでにLaTeXを利用したことのない学生を対象とする。他学類生は、必ず授業開講前に、履修の可否について担当教員に問い合わせること。	

社会学類(社会経済:グローバルシステムエリア) 平成24年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH21012	国際・公共システム演習	2	2.0	2-4	秋AB	火5,6	3C102, 3C110, 3A416	三崎 広海, Tran Lam Anh Duong, 秋山 英三	世界の多くの国々が抱える社会経済問題を、経済統計およびコンピュータを用い実証的に分析する。	エリア演習。国際・公共システムエリア(平成25年度以降入学者)、グローバルシステムエリア(平成24年度以前入学者)。平成24年度までのグローバルシステム演習に相当。FH27012と同一。社会学類3・4年次生を優先する
FH21031	国際開発論	1	2.0	2-4	秋学期	集中		木島 陽子	現在国際開発の分野で注目されている論点を取り上げ、発展途上国の現状について学ぶ。特にミクロ経済学的な視点から貧困削減をどのように進めることができるかについて分析する。	国際・公共システムエリア(平成25年度以降入学者)、グローバルシステムエリア(平成24年度以前入学者)。FH27021と同一。
FH21041	国際金融論	1	2.0	2-4	春AB	火5,6	3A402	Tran Lam Anh Duong, 秋山 英三	本授業では、国際金融の理解に不可欠な基本知識である国民経済計算や国際収支会計などをはじめに学習し、その上で分析の鍵となる為替市場と金融市場との関係について学習する。そして短期・長期の為替レートの決定要因、国際金融と財政・金融政策の相互作用のメカニズムについて理解を深める。	国際・公共システムエリア(平成25年度以降入学者)、グローバルシステムエリア(平成24年度以前入学者)。BC11431, FH27031と同一。
FH21051	経済動学	1	2.0	2-4	秋AB	金3,4	3L202	ターンブル ステイーヴェン	経済動学は経済の動き方を論じる。市場安定性、経済成長論、ゲームにおける情報の動学。	国際・公共システムエリア(平成25年度以降入学者)、グローバルシステムエリア(平成24年度以前入学者)。FH27041と同一。英語で授業。G科目
FH21071	文化行動論	1	2.0	2-4	秋C	月・木 3,4	3A204	石井 健一	経済のグローバル化にもかかわらず、人間の行動には依然として大きな文化差が存在している。本講義では、消費行動や情報行動の領域において文化的要因がどのように影響しているのかを、実証的な行動科学研究を中心に論じる。	戦略行動システムエリア(平成25年度以降入学者)、グローバルシステムエリア(平成24年度以前入学者)。AC33161, AC64441, FH24091と同一。
FH21081	国際貿易論	1	2.0	2-4	春AB	水1,2	3A306	内藤 久裕	As the economy becomes more globalized, it is becoming necessary to study the basic mechanism of international trade and its impact on welfare. In this course, we first study the concept of comparative advantage and study why countries will be engaged in international trade. Then, we study the impact on welfare by using several models. (The Ricardian, Heckscher-Ohlin and Specific Factor Model). Then, we study the monopoly model and its implication for international trade theory. In addition, we discuss the impact of international factor movement such as immigration and foreign direct investment.	西暦奇数年度開講。BB41601, BC11411, BE22271, FH25051と同一。英語で授業。JTP

社会学類(社会経済:計量ファイナンスシステムエリア) 平成24年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH22012	計量分析システム演習	2	2.0	2-4	春AB	木5,6	3A209, 3C102	高橋 正文	ファイナンス関係の理論及び実証研究で用いられる計量手法をデータ解析などを通じて学ぶ。	エリア演習。計量分析システムエリア(平成25年度以降入学者)、計量ファイナンスシステムエリア(平成24年度以前入学者)。平成24年度までの計量ファイナンス演習に相当。FH26012と同一。社会学類3・4年次生を優先する
FH22021	計量経済学	1	2.0	2-4	春AB	水1,2	3A207	五十嵐 岳, 繁野 麻衣子	計量経済学の基礎となる回帰分析の理論を講義する。統計学・線形代数・微分積分学などの知識を前提とする。	計量分析システムエリア(平成25年度以降入学者)、計量ファイナンスシステムエリア(平成24年度以前入学者)。BB41341, FH26021と同一。
FH22031	マクロ計量分析	1	2.0	2-4	春AB	木3,4	3A416	大久保 正勝	経済時系列データの分析に必要な計量経済学の方法を解説する。また、必要に応じてマクロ経済や金融分析への応用例を紹介する。	計量分析システムエリア(平成25年度以降入学者)、計量ファイナンスシステムエリア(平成24年度以前入学者)。FH26031と同一。
FH22041	金融論	1	2.0	2-4	秋AB	木3,4	3A301	原田 信行	ミクロ・マクロ経済学という分析手段を使って、金融システムを理論的・実証的に分析することで、経済における金融および金融政策の役割を考察する。	計量分析システムエリア(平成25年度以降入学者)、計量ファイナンスシステムエリア(平成24年度以前入学者)。FH26041と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH22051	金融リスク管理論	1	2.0	2-4	秋AB	月5,6	3A416	高橋 正文	金融資本市場に内在する様々なリスクを分類し、その個別リスク及び相関を考慮した全体リスクの計量方法を学ぶ。	計量分析システムエリア(平成25年度以降入学者)、計量ファイナンスシステムエリア(平成24年度以前入学者)。FH26051と同一。
FH22061	計量時系列分析	1	2.0	2-4	春AB	火3,4	3A203	三崎 広海, 秋山 英三	実証分析で使用する時系列解析の諸手法を概説すると共に、統計ソフトウェアを用いたデータ解析を通じて具体的な適用方法を習得する。	計量分析システムエリア(平成25年度以降入学者)、計量ファイナンスシステムエリア(平成24年度以前入学者)。FH26061と同一。

社会工学類(社会経済:公共システムエリア) 平成24年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH23021	日本経済論	1	2.0	2-4	春C夏季休業中	集中		高安 雄一	様々な経済指標を通じて日本経済の現状および課題について理解を深める。	計量分析システムエリア(平成25年度以降入学者)、公共システムエリア(平成24年度以前入学者)。FH26071と同一。
FH23031	公共経済学	1	2.0	2-4	秋学期	集中			市場経済における政府の役割などを学ぶ。	国際・公共システムエリア(平成25年度以降入学者)、公共システムエリア(平成24年度以前入学者)。FH27051と同一。
FH23051	財政学	1	2.0	2-4	夏季休業中	集中		釣 雅雄	財政制度、政府支出、租税、財政赤字と政府債務、社会保障、財政政策といった「財政学」の基本テーマについて、理論と制度の両面から講義する。	国際・公共システムエリア(平成25年度以降入学者)、公共システムエリア(平成24年度以前入学者)。BB41521, FH27061と同一。9/11-15

社会工学類(社会経済:戦略行動システムエリア) 平成24年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH24012	戦略行動システム演習	2	2.0	2-4	秋AB	金5,6	3A209	栗野 盛光	社会経済制度をどのようにデザインするかというマーケットデザインを、問題演習や経済実験を通じて理解する。	エリア演習。戦略行動システムエリア。社会工学類3・4年次生を優先する
FH24021	ゲーム論	1	2.0	2-4	秋AB	水1,2	3A403	澤 亮治	ゲーム理論は、複数のエージェント(人、企業、国家)が相互作用をしようシステムを分析するツールとして、経済学及び様々な社会科学で広く応用されている。この講義では、複数の利己的なエージェントから成るシステムを分析するための数学的及び数理的基礎を学ぶ。また、ゲーム理論の基本的な概念とゲーム理論が経済的および社会的な現象をどう説明できるかを学ぶ。	戦略行動システムエリア
FH24031	意思決定論	1	2.0	2-4	秋AB	木1,2	3A312	中村 豊	社会・経済問題におけるさまざまな意思決定問題をモデル化するのに必要な基礎的な概念について学習する。たとえば、効用モデル、リスク態度、トレード・オフ、社会・グループ意思決定などを学ぶ。	戦略行動システムエリア
FH24044	進化ゲーム論	4	2.0	2-4	春AB	月5,6	2H201	秋山 英三	社会科学に大きな影響を与えたダーウィン進化論と学習理論を概観し、進化ゲーム論の初歩を学ぶ。人間の進化・学習(適応)が身近な社会現象を生み出すメカニズムを、具体例を通じて追求する。	戦略行動システムエリア
FH24071	経済行動論	1	2.0	2-4	秋AB	火3,4	3A202	上市 秀雄	人間の経済行動に心理学的な側面からアプローチし、経済行動の理念および経済行動に影響を及ぼす各要因について概観する。	戦略行動システムエリア
FH24081	産業組織論	1	2.0	3-4	秋AB	火3,4	1C403	篠塚 友一	「企業と市場の経済学」について講義する。ミクロ理論とゲーム理論の分析用具を用いて、産業界の諸企業間の関係を考察する。	BB41281, FH25061と同一。

社会工学類(社会経済共通) 平成24年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH25918	卒業研究I	8	2.0	4	春AB	応談		社会工学類各教員	指導教員の指導のもとに、学類でのまとめとなる研究を行う。研究の基本的習慣を学び、テーマを決める。	必修科目(社会経済システム主専攻)。平成24年度以前入学者対象科目。
FH25928	卒業研究II	8	2.0	4	春C秋A	応談		社会工学類各教員	指導教員の指導のもとに、学類でのまとめとなる研究を行う。テーマに沿って研究を実施する。	必修科目(社会経済システム主専攻)。平成24年度以前入学者対象科目。
FH25938	卒業研究III	8	2.0	4	秋BC	応談		社会工学類各教員	指導教員の指導のもとに、学類でのまとめとなる研究を行う。研究成果を論文にまとめ、発表を行う。	必修科目(社会経済システム主専攻)。平成24年度以前入学者対象科目。

社会工学類(社会経済)専門科目(自由) 平成24年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH25011	社会経済特別講義I(人工社会入門)	1	1.0	2-4					社会経済分野の先端的かつ専門的な講義を行う。	2017年度開講せず。
FH25021	社会経済特別講義II(入門複雑系経済学)	1	1.0	2-4	秋学期	集中		花木 伸行	社会経済分野の先端的かつ専門的な講義を行う。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH25031	社会経済特別講義 III(脳と社会)	1	1.0	2-4	夏季休業中	集中		奥田 次郎	社会経済分野の先端的かつ専門的な講義を行う。	

社会工学類(経営工学:経営工学基礎エリア) 平成24年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH31051	データ解析	1	2.0	2-4	春AB	木1,2	3C102, 3C114	金澤 雄一郎	統計学の内容を踏まえて、データをいかに解析するかを学ぶ。理論の講義と統計パッケージを用いた実習を併行して進める。統計理論をきた知識として使えるようにするのがこの授業の目的である。	情報技術エリア(平成25年度以降入学者)、経営工学基礎エリア(平成24年度以前入学者)。FH33071と同一。
FH31061	応用確率論	1	2.0	2-4	春C	火・木5,6	3A306	竹原 浩太	初歩的な確率の考え方や計算技術をファイナンス等への応用を通じて習得する。確率空間、連続および離散的確率分布、積率母関数とモーメント、同時確率分布と条件付き確率、大数の法則、中心極限定理などをカバーする予定。	数理工学モデル化エリア(平成25年度以降入学者)、経営工学基礎エリア(平成24年度以前入学者)。FH34091と同一。
FH31071	数理統計学	1	2.0	2-4	秋AB	金1,2	総合B0110	イリチュ 美佳	多変量データを素材とした数理統計学の基礎的知識とそれに基づいた応用や適用手法について学ぶ。	数理工学モデル化エリア(平成25年度以降入学者)、経営工学基礎エリア(平成24年度以前入学者)。FH34101と同一。初回授業の10/6(金)のみ総合B0112で実施する。
FH31081	経営学	1	2.0	2-4	秋AB	火3,4	3A403	生稻 史彦	経営は社会において欠くべからざるものです。社会には、一人では成し遂げられず、複数の人が取り組む必要がある課題が存在します。そうした課題に力をあわせて取り組んでいくためには、人々に正しい筋道(経)を提示し、活動を整える(営)必要があります。経営学はこの筋道と活動の調整を主に考え抜く学問です。本講義では、経営について積み重ねられてきた学術的知見を教授します。考察の対象は、皆さんが日々接する企業や組織の中の経営という現象です。主に、人々の活動の筋道を示す戦略論と、人々の活動を整える組織論を中心に説明をします。この講義を通じて、自らの力で経営について深く理解し、よりよい経営のあり方を構想し、実践できる人材になれるように基礎作りをします。ただし、講義で扱える内容は初歩的なものであるので、一人でも多くの学生さんが学問としての経営に興味を持ち、講義の後も学び続けられるように指導したいと思います。	マネジメントエリア(平成25年度以降入学者)、経営工学基礎エリア(平成24年度以前入学者)。FH32081と同一。

社会工学類(経営工学:マネジメントエリア) 平成24年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH32013	マネジメント実習	3	2.0	2-4	秋AB	木4-6	3E209	有馬 澄佳, 生稻 史彦, 岡田 幸彦	経営戦略、管理会計、マーケティングなどについて総合的な理解を深めるため、チーム作業によって、特定の課題解決を想定した実習を行う。	エリア実習。マネジメントエリア。社会工学類2-4年(3年次履修推奨)
FH32021	産業・組織心理学	1	2.0	2-4	春AB	金3,4	3A403	渡邊 真一郎	本コースでは、ワーク・モチベーションに関する諸理論を、実際の産業組織での応用例を踏まえながら、広範囲にレビューする。また、組織における人間の行動を活性化させたり方向づけたりする要因についての基礎的理解を深める。ワーク・デザイン、リーダーシップ・スタイル、給与システム等のキーワードが理解の鍵となる。	BC12391と同一。社会工学類生の取扱い:マネジメントエリア。平成28年度までの「経営組織論」に相当。
FH32031	マーケティング工学	1	2.0	2-4	秋AB	木1,2	3A308	近藤 文代	マーケティング工学は、マーケティング関連のデータを用いて分析を行う。統計モデルコースとして位置付ける。講義でマーケティングモデルおよびマーケティング管理について概念も含めて説明し、その後、EXCELやRなどのソフトウェアを使って意志決定モデルを組み立てる。	マネジメントエリア
FH32041	ファイナンス	1	2.0	2-4	通年	集中		遠藤 操	金利の期間構造、平均・分散ポートフォリオ理論、アセット・プライシング・モデル、金融デリバティブズのプライシング等について解説する。	マネジメントエリア
FH32061	国際企業論	1	1.0	2-4	夏季休業中	集中		小山 明宏	多国籍企業の経営行動と組織戦略を経営環境とのつながりで、文化起源も含めて展開する。経営の中の国際人育成を目指す。	マネジメントエリア6科目
FH32071	保険数理	1	1.0	2-4					人生のリスクに関わる保険と年金の分野で数理が果たしている役割を解説する。保険では、保険(事業)の経済的・社会的な機能と保険数理について扱う。年金では、公的・私的年金の制度と年金数理について扱う。	マネジメントエリア。2017年度開講せず。

社会工学類(経営工学:情報技術エリア) 平成24年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH33013	情報技術実験	3	2.0	2-4	秋ABC	火5,6	3C104	張 勇兵, 八森 正泰, 安東 弘泰	前半の5週はオブジェクト指向プログラミングの入門実習を行う。後半10週はLinuxのネットワークを題材に、システム管理の技術とネットワークの仕組みを学ぶ。	エリア実習。情報技術エリア。社会工学類2-4年(2年次履修推奨)
FH33021	計算機科学	1	2.0	2-4	秋AB	金3,4	3A207	繁野 麻衣子, Phung-Duc Tuan	データ構造とアルゴリズム、計算の複雑性の基礎について学び、コンピュータ・ネットワーク上での応用例を幾つか紹介する。	情報技術エリア
FH33031	経営情報システム	1	2.0	2-4	秋C	月・木3,4	3A203	倉田 久	経営情報システム(Management Information Systems)、つまり経営におけるコンピュータ・システムの応用と企業の情報化に関する基本的な知識を講義する。	情報技術エリア

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH33051	シミュレーション	1	2.0	2-4	秋C	火・金 3,4	3A301	繆 瑩, 安東 弘泰	できるだけ少ない実験で偏りのないデータを得るための技術(実験計画法)、および、コンピュータ上で実験するための計算技法(計算機シミュレーション)を学ぶ。	情報技術エリア
FH33061	情報ネットワーク	1	2.0	2-4	春AB	木3,4	3A312	張 勇兵, 繆 瑩	ネットワークの基本構成や形態などについて解説し、電子メール、WWWなど実際の応用例を用いて実習を混ぜながらインターネットについて解説する。また、ネットワークセキュリティの脅威と対策、暗号システムと認証方式、鍵管理方式についても解説する。	情報技術エリア

社会工学類(経営工学:数理工学モデル化エリア) 平成24年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH34013	数理工学モデル化実習	3	2.0	2-4	春AB	火3-5	3E209, 3C114	繁野 麻衣子, 吉瀬 章子, 小林 佑輔	数理工学モデル化エリアの各授業において学んだ、様々な工学的なツール(モデル)に関する基礎知識を、問題演習や実習を通して、さらに「使える」知識として定着させることを目標とする。	エリア実習。数理工学モデル化エリア。社会工学類2-4年(3年次履修推奨)
FH34031	数理最適化法	1	2.0	2-4	春C	月・木 3,4	3A204	繁野 麻衣子, 吉瀬 章子	数理計画におけるいくつかのテーマ(線形計画法, 非線形計画法, グラフ理論, 組み合わせ最適化法 等)を取り上げ、代表的な算法や基礎的な理論について概説を与える。	数理工学モデル化エリア。平成24年度までの「数理計画」に相当。
FH34051	応用確率過程	1	2.0	2-4	秋AB	月5,6	3A306	Phung-Duc Tuan, 繆 瑩	時間的に変化する確率現象をマルコフ過程などの確率過程としてモデル化し解析する手法を説明する。人口モデル、システムの信頼性、在庫管理、待ち行列、コンピュータと通信網の性能評価などへの応用例を紹介する。	数理工学モデル化エリア
FH34061	生産・品質管理	1	2.0	2-4	春C 夏季休業中	火・金 3,4 集中	3A202, 3C104	有馬 澄佳, 川村 大伸	生産・品質管理の概念、統計的品質管理手法、在庫理論、信頼性工学について解説する。	マネジメントエリア(平成25年度以降入学者)、数理工学モデル化エリア(平成24年度以前入学者)。FH32091と同一。
FH34071	都市解析	1	2.0	2-4	秋C	月・木 3,4	3A312	大澤 義明, 鈴木 勉, 石井 儀光, 本間 裕大	都市をある視点から抽象化すると、点や線や面の織りなすパターンとみなすことができる。そこで、都市機能の面から、これらのパターンを分析する場合の数理的基礎について論ずる。	地域科学エリア(平成25年度以降入学者)、都市機能とフィジカルプランニングエリア(平成24年度以前入学者)。FH43051, FH48051と同一。FH34071は経営工学専攻数理工学モデル化エリア(平成24年度以前入学者)。

社会工学類(経営工学共通) 平成24年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH35013	問題発見と解決	3	2.0	3-4	秋BC	金5,6	3E209	吉瀬 章子, 有馬 澄佳	経営工学専攻で学んだ基礎知識を用いて、自らテーマを設定し、モデル化、ソリューションの導出、ソリューションの検討からなる一連のプロセスを経験するとともに、ディスカッションとプレゼンテーションのトレーニングを行う。学外への視野を広げるため、社会で活躍する方々を招いての事例講義や他大学の学生による交流発表会も予定している。	必修科目(経営工学専攻) CDP
FH35918	卒業研究I	8	2.0	4	春AB	応談		社会工学類各教員	指導教員の指導のもとに、学類でのまとめとなる研究を行う。研究の基本的習慣を学び、テーマを決める。	必修科目(経営工学専攻)。平成24年度以前入学者対象科目。
FH35928	卒業研究II	8	2.0	4	春秋A	応談		社会工学類各教員	指導教員の指導のもとに、学類でのまとめとなる研究を行う。テーマに沿って研究を実施する。	必修科目(経営工学専攻)。平成24年度以前入学者対象科目。
FH35938	卒業研究III	8	2.0	4	秋BC	応談		社会工学類各教員	指導教員の指導のもとに、学類でのまとめとなる研究を行う。研究成果を論文にまとめ、発表を行う。	必修科目(経営工学専攻)。平成24年度以前入学者対象科目。

社会工学類(都市計画:都市計画共通エリア) 平成24年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH41013	都市計画実習	3	3.0	3-4	春AB	火4,5 金3-6	3C403, 3C402, 3C405	糸井川 栄一, 奥島 真一郎, 甲斐田 直子, 川島 宏一, 鈴木 勉, 谷口 綾子, 谷口 守, 吉野 邦彦	特定の地域、都市を取り上げて、都市・地域計画上の問題の発見と図面作成等の作業を通じて地域整備の課題を把握する。	必修科目(都市計画専攻、平成25年度以降入学者)。エリア実習(都市計画共通エリア、平成24年度以前入学者)。BC12713, FH45123と同一。社会工学類3・4年次生と国際総合学類の学生を優先する
FH41025	都市計画事例講義および実習	5	3.0	2-4	秋AB	火5,6 応談	3A312	大澤 義明, 糸井川 栄一, 岡本 直久, 藤井 さやか, 雨宮 護, 梅本 通孝	都市計画に関する実際の事業や業務は、様々な法制度による規制等を受けたり、多くの組織との交渉の結果、成立したりするものである。そこで卒業生が実際に関わった開発事例等を取り上げ、実社会における業務、内容や法規(建築基準法, 都市計画法, 建築士法, 建設業法等)を理解しつつ、必要な見識と成功する条件等について議論する。	見学を3回程度集中して夏季休業中に行う。FH45135と同一。都市計画共通(平成25年度以降入学者)、都市計画共通エリア(平成24年度以前入学者)。社会工学類3・4年次生を優先する。
FH41051	都市・地域・国土の政策評価	1	2.0	2-4	春AB	火1,2	3A306	堤 盛人	都市・地域・国土を対象とした政策を念頭に政策評価の現状について説明するとともに、社会資本整備プロジェクトを対象に、経済分析(費用便益分析)・財務分析・プロジェクトに関する金融について説明する。	地域科学エリア(平成25年度以降入学者)、都市計画共通エリア(平成24年度以前入学者)。平成24年度までの「プロジェクトの評価とファイナンス」に相当。FH48041と同一。



科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH41064	都市環境評価論	4	2.0	2-4	春AB	金1,2	3A306	吉野 邦彦, 村上 暁信, 甲斐田 直子	良好で快適かつ安全・安心な都市環境を維持・実現するためには、都市の環境を理解することが必要である。本授業では、都市の水環境、気候、土地利用と生態系、生活およびライフスタイルの基礎知識と都市環境を定量的に計測・評価する手法(アセスメント手法等)について概説する。最終週では総合討論を行い、地球環境問題と都市環境問題との関連性について理解を深める。本講義を通じて、環境と調和した都市像を考えて欲しい。	都市構造・社会基盤エリア(平成25年度以降入学者)、都市計画共通エリア(平成24年度以前入学者)。平成24年度までの「都市データ分析」に相当。FH47034と同一。

社会工学類(都市計画:まちづくりと都市設計の実践エリア) 平成24年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
FH42073	住環境計画実習	3	2.0	3-4	春C	火・金 3-6	3C402, 3C403, 3C404, 3C405	渡辺 俊, 藤川 昌樹, 藤井 さやか, 雨宮 護, 山本 幸子, 神田 信孝	都市・建築空間の設計能力向上を目指す演習である。2年次までに開講された設計関連科目(基本製図, 設計演習)を受講した学生が、これまでに習得した設計製図における基礎手法を用い、集合住宅の設計方法と設計技術を身につける。	原則として「基本製図」既履修者に限る。環境とまちづくりエリア(平成25年度以降入学者)。FH46013と同一。まちづくりと都市設計の実践エリア(平成24年度以前入学者)、「基本製図」と併せて履修することで「アメニティ創造のまちづくり実習」に相当。平成24年度以前に「アメニティ創造のまちづくり実習」を履修したものの履修は不可。
FH42021	都市空間の計画とデザイン	1	2.0	2-4	秋BC	木5,6	3A301	渡辺 俊	建築・都市デザインの潮流を概説するとともに、魅力的な空間を創出するための様々なヴォキャブラリーを紹介する。次に、それらの機能的構成と建築基準法(単体規定)等の建築関連規定について説明する。また、デザイン課題を通して空間設計に必要な基礎的素養を習得する。	環境とまちづくりエリア(平成25年度以降入学者)、まちづくりと都市設計の実践エリア(平成24年度以前入学者)。FH46031と同一。住環境計画実習に向けた内容の講義であり、「2年次」での履修を強く推奨する。
FH42031	都市緑地計画	1	2.0	2-4	秋AB	金1,2	3A403	村上 暁信	自然環境や歴史資源、オープンスペース等の保全を基調とした都市・地域計画のあり方について、その歴史的展開や現代的課題、将来方向を、具体例を交えながら体系的に論ずる。	環境とまちづくりエリア(平成25年度以降入学者)、まちづくりと都市設計の実践エリア(平成24年度以前入学者)。FH46041と同一。平成24年度までの「都市環境保全計画」に相当。
FH42041	住まいと居住環境の計画	1	2.0	2-4	春AB	月5,6	3A202	雨宮 護, 山本 幸子	最も身近な建築である住まひは、建築の基本であると同時に、都市をつくる重要な構成要素でもある。本講義では、日本における住まひの歴史、戦後の社会状況・ライフスタイルの変化が都市・農村の住宅や居住環境に与えた影響と今日的課題について解説する。さらに少子高齢・人口減少の進行とグローバル化の進展、ストック活用型社会におけるこれからの住まひづくり、まちづくりについて考える。	環境とまちづくりエリア(平成25年度以降入学者)、まちづくりと都市設計の実践エリア(平成24年度以前入学者)BC12551, FH46021と同一。
FH42051	現代まちづくりの理論と実践	1	2.0	2-4	春AB	木5,6	3A403	藤川 昌樹, 有田 智一, 藤井 さやか, 川島 宏一, 雨宮 護, 村上 暁信, 山本 幸子	現代のまちづくりの理論的背景として、20世紀の計画理論を批判的に振り返り、計画プロセス、参加、計画行政及び計画手法、計画法規等について論じる。さらに、現代まちづくりの実践がどのような形で展開されているか、中心市街地や都市と農村の混在混住地域の再生、持続可能な環境共生型まちづくり、等のトピックを取り上げて解説する。	環境とまちづくりエリア(平成25年度以降入学者)、まちづくりと都市設計の実践エリア(平成24年度以前入学者)。FH46051と同一。2年次履修推奨科目(都市計画主専攻)
FH42061	都市文化共生計画	1	2.0	2-4	秋AB	火1,2	3B405	松原 康介	現代は多文化共生の時代である。今後の都市空間は、日本文化、欧米文化だけでなく、中国、韓国、インド、イスラームといった、アジアの諸文化との共生が求められる。本講義の前半では、一見複雑で無秩序に見えるアジア諸国の都市空間の構成を、歴史と現地映像から読み解いていく。後半では、現代におけるアジア的空間の非アジア都市への伝播の実態を踏まえて、多文化共生の都市計画に必要なアイデアや方法とは何かを考えていく。	BC12541, FH46061と同一。社会工学類学生の取り扱い:環境とまちづくりエリア(平成25年度以降入学者)、まちづくりと都市設計の実践エリア(平成24年度以前入学者)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	
FH42093	基本製図		3	1.0	2	秋A	金3,4	3C114	渡辺 俊	社会工学類都市計画専攻において、都市・建築空間の設計能力向上を目指す学生向けの演習である。住宅の設計に必要な建築の基本図面(配置図、平面図、断面図、立面図等)の描き方と関連する基礎知識を習得する。	都市計画共通(平成25年度以降入学者)、まちづくりと都市設計の実践エリア(平成24年度以前入学者)、「住環境計画実習」と併せて履修することで「アメニティ創造のまちづくり実習」に相当) FH45143と同一。 原則として「都市計画情報実習」既履修者に限る。平成24年度以前に「アメニティ創造のまちづくり実習」を履修したものの履修は不可。

社会工学類(都市計画:都市機能とフィジカルプランニングエリア) 平成24年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	
FH43013	都市計画マスタープラン実習		3	3.0	3-4	秋ABC	金3-6	3A405, 3C402, 3C403	岡本 直久, 大澤 義明, 有田 智一, 堤 盛人, 村上 暁信, 山崎 清, 近藤 美則, 石井 儀光, 鬼頭 朋見	土浦市を含む茨城県南地域を対象とし、交通予測・土地利用予測ソフトウェアを利用し、地理情報システム(GIS)等を用いた資料作成やプレゼンテーションを通して、都市計画マスタープランや市町村総合計画の策定過程を習得する。最終発表会を土浦市で開催する。	エリア実習。都市構造・社会基盤エリア(平成25年度以降入学者)、都市機能とフィジカルプランニングエリア(平成24年度以前入学者)。平成24年度までの「都市計画マスタープラン策定実習」に相当。 FH47013と同一。 社会工学類3・4年次生を優先する
FH43021	土地利用・地区整備計画		1	2.0	2-4	春AB	水1,2	3A308	藤井 さやか	都市地域における土地利用計画を中心に、国・地域レベルから地区レベルまでの土地利用計画の形態、目的、機能を概説するとともに、地区レベルの市街地整備方針として、都市計画の方法としての地区計画や建築基準法(集団規定)等の法規について基本的な知識を学ぶ。	都市構造・社会基盤エリア(平成25年度以降入学者)、都市機能とフィジカルプランニングエリア(平成24年度以前入学者)。 FH47021と同一。 2年次履修推奨科目(都市計画専攻)
FH43031	交通運輸政策		1	2.0	2-4	春AB	木1,2	2H101	岡本 直久, 谷口 綾子	道路、鉄道、交通結節施設の機能、構造基準の解説とともに、これらの交通施設の計画とその相互連携による交通管理計画について事例をもとに概説し、あわせて計画の要素、考慮すべき要因、要因相互の関係などについて論ずる。	都市構造・社会基盤エリア(平成25年度以降入学者)、都市機能とフィジカルプランニングエリア(平成24年度以前入学者)。 FH47051と同一。 平成24年度までの「交通計画」に相当。
FH43041	都市防災計画		1	2.0	2-4	春AB	木3,4	3A306	糸井川 栄一	都市災害の特徴を分析した上で、都市における各種災害の発生・拡大メカニズム、予測手法について事例を踏まえて示し、これらの防止対策及び都市防災計画の立案手法を都市計画との関連で解説する。	都市構造・社会基盤エリア(平成25年度以降入学者)、都市機能とフィジカルプランニングエリア(平成24年度以前入学者)。 FH47041と同一。
FH43051	都市解析		1	2.0	2-4	秋C	月・木3,4	3A312	大澤 義明, 鈴木 勉, 石井 儀光, 本間 裕大	都市をある視点から抽象化すると、点や線や面の織りなすパターンとみなすことができる。そこで、都市機能の面から、これらのパターンを分析する場合の数理的基礎について論ずる。	地域科学エリア(平成25年度以降入学者)、都市機能とフィジカルプランニングエリア(平成24年度以前入学者)。 FH34071, FH48051と同一。 FH34071は経営工学専攻数理工学モデル化エリア(平成24年度以前入学者)。
FH43071	社会基盤と国土		1	2.0	2-4	秋C	火・金1,2		岡本 直久, 谷口 守, 堤 盛人, 谷口 綾子	日本の社会基盤政策および地域・国土計画の歴史を振り返り、欧米諸国との比較や最近の動向を踏まえて、国土・地域計画のあり方、社会基盤整備のあり方について考える。現代における社会基盤の役割や関連政策を理解する上で必要となる概念・用語を修得する。また、我が国や開発途上国における関連法制度、計画制度の現状と課題について理解したうえで、将来にむけた社会基盤と国土のあり方についての提案ができることを目指す。	社会工学類学生の取り扱い:都市構造・社会基盤エリア(平成25年度以降入学者対象)、都市機能とフィジカルプランニングエリア(平成24年度以前入学者)。 BC12741, FH47061と同一。 平成29年度(2017年度)にて、本科目は開講する。

社会工学類(都市計画:都市地域環境の経済エリア) 平成24年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	
FH44012	地域科学演習		2	2.0	3-4	秋ABC	月5,6	3A405, 3C104	太田 充, 梅本 通孝, 牛島 光一, 鬼頭 朋見	都市・地域・環境経済学的手法・テーマ・データで実証分析を行い、政策的な課題を分析する視点・手法を修得する。	エリア演習。地域科学エリア(平成25年度以降入学者)、都市・地域・環境の経済エリア(平成24年度以前入学者)。平成24年度までの「都市地域経済学演習」に相当。 FH48012と同一。 社会工学類3・4年次生を優先する
FH44021	都市と地域の経営・行政論		1	2.0	2-4	秋AB	水1,2	3A306	有田 智一, 川島 宏一	公共政策のあり方とその担い手の変化に係る近年の新たな潮流を踏まえつつ、公共政策における政策決定・実施・評価のあり方を概説する。更に、日本の国土計画、および都市地域政策の経緯を振り返り、欧米諸国との比較を踏まえつつ、今後の都市・地域経営のあり方について考える。	地域科学エリア(平成25年度以降入学者)、都市・地域・環境の経済エリア(平成24年度以前入学者)。 FH48031と同一。 2年次履修推奨科目(都市計画専攻)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH44051	都市経済学	1	2.0	2 - 4	秋C	月・木 1, 2	3A402	太田 充, 牛島 光一	都市経済学と立地論の分析手法の基礎を習得し、都市・地域・国際取引に関する政策についての知識を学ぶ。	BB41441, BC12701, FH48021と同一。 G科目 地域科学エリア(平成25年度以降入学者)、都市・地域・環境の経済エリア(平成24年度以前入学者)。平成24年度までの「空間と交通の経済学」に相当。
FH44061	環境政策論	1	2.0	2 - 4	秋AB	火3, 4	3A301	奥島 真一郎	本科目では、主に経済学的な観点から、環境保全のための政策手段やその評価手法について考察する。加えて、様々な価値観、ディシプリンと政策インプリケーションとの関係について考察し、「環境問題」や「環境政策」に対する多様な視点を涵養する。また、地球温暖化問題や廃棄物問題など具体的な環境問題についての理解を深める。	国際総合学類開講、社会学学類共通科目。 BC12571, FH48061と同一。 国際開発学主専攻専門科目。 社会学学類学生の取り扱い: 地域科学エリア(平成25年度以降入学者)、都市・地域・環境の経済エリア(平成24年度以前入学者)。

社会学学類(都市計画共通) 平成24年度以前入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
FH45013	都市計画インターンシップ	3	2.0	3・4	通年	応談		大澤 義明, 雨宮 護	都市計画と関連のある官公庁, 研究所, 企業, 非営利団体などで研修を行い, 実践的な問題発見と解決能力を身につける。	必修科目 CDP 社会学学類3・4年次生を優先する。インターンシップは夏季休業中に行う。
FH45051	建築関連法規	1	1.0	2 - 4	秋学期	集中		飯田 直彦, 五條 渉, 成田 潤也	建築基準法を主体に、都市計画・土地利用関係法令、建設事業関係法令など、建築全般に関する法令を、実例を引用して具体的に講義することにより、法令の基礎的な仕組みを理解する。	
FH45061	建築経済	1	1.0	2 - 4	秋B	集中		高橋 暁	建築活動の経済的側面と建築のライフサイクル、建築の管理に関わる基礎知識を習得する。	12/2, 3(9:00-17:00)
FH45071	建築生産	1	1.0	2 - 4	秋学期	集中		川上 敏男	建築生産の概要について演習・現場をまじえながら理解し、その基礎習得を目指す学生向けの講義である。集中講義ではあるが、見学をふくめ現場での実際のものづくりを建築施工の工程をふまえながら、体感することに取り組む。	
FH45081	都市計画の思想史	1	2.0	2 - 4	春C	月・木 5, 6	3A403	松原 康介	都市計画を学ぶことは、一義的には都市を制御するための技術を習得し職能として身に付けることを意味するが、その成立の背景で積み重ねられてきた多くの試行錯誤の歴史を知ることは、都市計画と人間の関わりのある方を客観的にとらえ、技術と倫理の関わり方を考える力を養うことにつながる。本講義では、都市計画の基礎的なトピックを対象に、その成立に関わった人々の考え方や言葉を「しつこく丁寧に掘り下げて」議論する。テキストや写真、図面など、できるだけ多くの生資料に触れて頂く。 国際の学生にとっては、世界史もふまえた広い切り口からの都市計画への入門講座として位置付けられる。また、社工生にとっては、普段学んでいる技術としての都市計画の成立の背景に、どんな人々のどのような考え方が潜んでいたのかを再認識する機会として頂きたい(もちろん、他学類の学生も歓迎します)。	BC12751と同一。
FH45092	設計演習II	2	2.0	3・4	秋A	木3-6	3C405	藤川 昌樹, 渡辺 俊, 藤井 さやか, 雨宮 護, 山本 幸子	空間の設計能力向上を目指す建築設計製図演習である。1-3年次に「設計演習I」(または「空間演習I」)及び「街並みデザイン演習」, 「基本製図」及び「住環境計画実習」(または「アメニティ創造のまちづくり実習」)を受講した学生が、これまでに習得した設計製図における基礎手法を用い、より高度な設計方法と設計技術を身に付けることを目標とする。	平成24年度までの「空間演習II」に相当
FH45102	街並みデザイン演習	2	1.0	1・2	秋C	応談		渡辺 俊	本演習では、つくば市内外・近辺の市街地を対象地として、住宅及び商業施設の設計の基礎や魅力的な街並みを構成する方法を学ぶ。具体的には、対象地区内から敷地を選定し、新たな住宅及び商業施設の設計課題を通じて、その街並みの理解を深める。	「空間演習I(2012年度年以前開講)」の単位を取得済みで、建築士受験資格取得希望者に限る。平成24年度以前入学者対象科目。
FH45182	設計演習I	2	2.0	2	秋BC	金3, 4	3A308	山本 幸子, 藤川 昌樹, 渡辺 俊, 藤井 さやか, 雨宮 護, 今井 信博	社会学学類都市計画主専攻において、都市・建築空間の設計能力向上を目指す学生向けの演習である。木造住宅の設計を通して木造建築の基礎を習得し、住宅の計画・建築設計の基礎知識と技術を身につけることを目標とする。	原則として「基本製図」既履修者に限る。平成24年度以前に「空間演習I」を履修したものの履修は不可
FH45918	卒業研究I	8	2.0	4	春AB	応談		社会学学類各教員	指導教員の指導のもとに、学類でのまとめとなる研究を行う。研究の基本的習慣を学び、テーマを決める。	必修科目(都市計画主専攻)。 平成24年度以前入学者対象科目。
FH45928	卒業研究II	8	2.0	4	春C秋A	応談		社会学学類各教員	指導教員の指導のもとに、学類でのまとめとなる研究を行う。テーマに沿って研究を実施する。	必修科目(都市計画主専攻)。 平成24年度以前入学者対象科目。
FH45938	卒業研究III	8	2.0	4	秋BC	応談		社会学学類各教員	指導教員の指導のもとに、学類でのまとめとなる研究を行う。研究成果を論文にまとめ、発表を行う。	必修科目(都市計画主専攻)。 平成24年度以前入学者対象科目。